

Yamanashi Facts and Figures

富士山を世界文化遺産に



やまなし
県のあらし

2012

*yamanashi
facts and figures*



発刊のことば

山梨県は、東京圏という大消費地のすぐ隣にありながら県土の約78%を森林が占め、富士山をはじめとする自然豊かな観光資源に恵まれています。

また、豊富な水と太陽の恵みが育んださまざまな農産物、ワインやジュエリー、絹織物など優れた県産品が「やまなしブランド」として、国内外で認知され始めています。

さらに、リニア中央新幹線や中部横断自動車道、富士山の世界文化遺産登録など、将来の山梨の可能性を飛躍的に高める「やまなし発展の芽」が、着実に育ちつつあります。

これらの発展の芽を大きく育て上げ、県民の誰もが真の豊かさを実感できる山梨の実現に引き続きチャレンジしていくため、昨年10月、「第二期チャレンジ山梨行動計画」を策定しました。この計画に基づき、「暮らしやすさ日本一の県づくり」に向け施策や事業を推進しているところです。

この冊子は、こうした本県の姿や魅力をさまざまな方向から取り上げ、データを通して紹介しています。本県の素晴らしさや可能性を実感していただくとともに、山梨県の資料集として皆さんのお役に立てていただければ幸いです。

山梨県知事 横内 正明

CONTENTS

■ 山梨の姿		■ 第二期チャレンジ山梨行動計画	19	■ 山梨の魅力	
地 勢	3	■ 県の組織	25	郷土に伝わる四季の祭り	33
面積・人口	5	■ 県の予算	27	国宝	34
歴 史	7	■ 施設ガイド	29	山梨の味と技を知る	35
産 業	9	■ 電話相談	31	山梨散策	37
データファイル	13				
国際交流	17				

■山梨の風景写真
御坂山塊上空より富士を望む
桃源郷（笛吹市） | 尾白川渓谷（北杜市）

■表紙の写真
富士山と西湖 | 富士御室浅間神社 本殿
北口本宮富士浅間神社 本殿 | 吉田口登山道 馬返



地勢 Geographical Features

■甲府盆地から北側を眺めると



この写真は、中部横断自動車道白根IC付近から撮影したものです

山梨は周囲を急峻な山々に囲まれています。

北東部に秩父山塊、西部に3,000m級の山々からなる赤石山脈(南アルプス)、南部には日本一の高峰富士山(3,776m)、そして北部には八ヶ岳、茅ヶ岳が広い裾野をひいています。

これらの山地は、山岳、森林、湖沼、渓谷などの優れた景観に富み、富士箱根伊豆国立公園など、自然公園にも指定されています。

おもな川 富士川は、日本三大急流の1つです。

	(流路延長)		(流路延長)
富士川 (斐川川を含む)	122.40km	日川	28.40km
早川	61.00km	鶴川	24.05km
桂川	52.85km	芦川	23.64km
笛吹川	46.50km	道志川	20.00km
荒川	34.00km	多摩川 (丹波川を含む)	19.74km
塩川	33.06km		

(注)流路延長は山梨県内分 資料:河川表

おもな湖沼 富士五湖は、日本三大湖沼の1つです。

	(周囲)	(面積)	(深さ)	(標高)
山中湖	13.87km	6.80km ²	13.3m	980.5m
河口湖	20.94km	5.70km ²	14.6m	830.5m
本栖湖	11.82km	4.70km ²	121.6m	900.0m
西湖	9.85km	2.10km ²	71.7m	900.0m
精進湖	6.80km	0.50km ²	15.2m	900.0m

資料:国土地理院

おもな山 富士山は、日本三名山の1つです。

	(標高)		(標高)
富士山	3,776m	駒ヶ岳	2,967m
北岳	3,193m	赤岳	2,899m
間ノ岳	3,189m	観音ヶ岳	2,840m
仙丈ヶ岳	3,033m	薬師ヶ岳	2,780m
農鳥岳	3,026m	地藏ヶ岳	2,764m

資料:国土地理院

自然公園 6つの自然公園の面積は、県土の約3割を占めています。

	(面積)	(関係市町村)	(指定年月日)
富士箱根伊豆国立公園	36,742ha	富士吉田市外6町村	昭和11年2月 1日
南アルプス国立公園	18,286ha	韮崎市外2市1町	昭和39年6月 1日
秩父多摩甲斐国立公園	46,834ha	甲府市外4市2村	昭和25年7月10日
八ヶ岳中信高原国立公園	4,088ha	北杜市	昭和39年6月 1日
県立南アルプス巨摩自然公園	14,841ha	韮崎市外2市3町	昭和41年4月 1日
県立四尾連湖自然公園	362ha	市川三郷町	昭和34年4月 2日

(注)面積は山梨県分 資料:環境省自然環境局

■甲府盆地から西側を眺めると



この写真は、八代ふるさと公園(笛吹市)から撮影したものです

■甲府盆地から北東を眺めると



この写真は、中部横断自動車道白根IC付近から撮影したものです



■甲府盆地から南東を眺めると

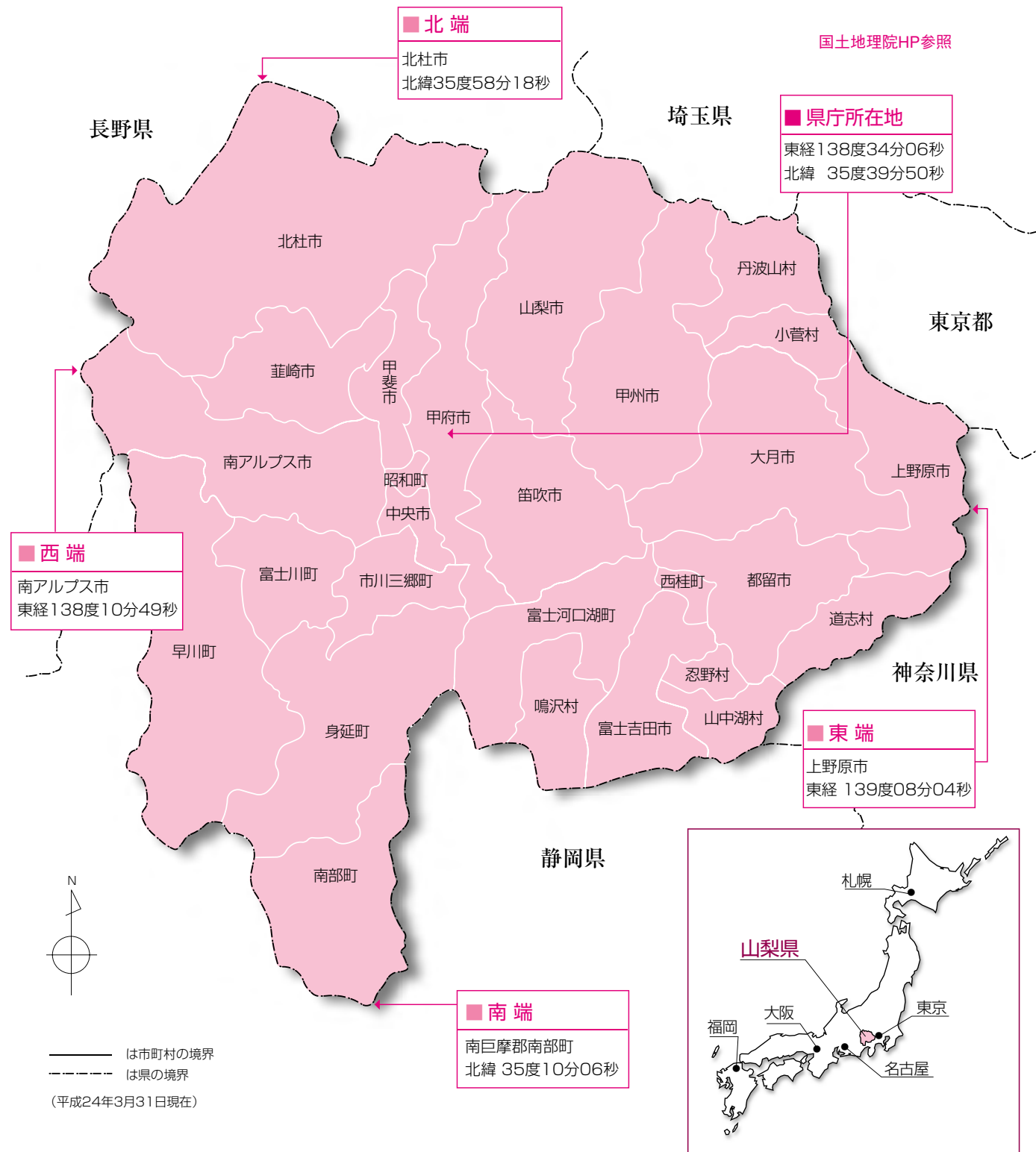


この写真は、中部横断自動車道白根IC付近から撮影したものです

面積・人口

山梨県は日本列島のほぼ中央に位置し、東京都、神奈川県、静岡県、長野県、埼玉県に囲まれた海のない内陸県です。面積はわが国の総面積377,954.84km²（平成23年10月1日現在）の約100分の1にあたり、県土の約78%を森林が占めています。

総面積 *4,465.37km² 全国 第32位（平成23年10月1日現在）



総人口 857,690人（平成23年10月1日現在）

市町村別人口・世帯数

山梨県の市町村数は、27市町村（13市8町6村）です。（平成24年3月31日現在）

市町村名	面積 (H23.10.1) Km ²	人口 (H23.10.1)			世帯数 (H23.10.1) 世帯
		総数 人	男 人	女 人	
県合計	*4,465.37	857,690	419,664	438,026	328,891
市部計	*2,817.01	732,208	357,957	374,251	282,398
郡部計	*1,648.36	125,482	61,707	63,775	46,493
甲府市	212.41	197,662	96,939	100,723	85,152
富士吉田市	*121.83	50,180	24,541	25,639	17,754
都留市	161.58	33,451	16,130	17,321	13,725
山梨市	289.87	36,445	17,473	18,972	13,131
大月市	280.30	27,659	13,434	14,225	10,157
韮崎市	143.73	32,239	16,015	16,224	11,775
南アルプス市	264.07	72,242	35,488	36,754	24,655
北杜市	602.89	46,872	22,804	24,068	18,053
甲斐市	71.94	73,559	36,245	37,314	28,389
笛吹市	201.92	70,498	33,945	36,553	25,808
上野原市	170.65	26,639	13,292	13,347	9,986
甲州市	264.01	33,607	16,119	17,488	11,625
中央市	31.81	31,155	15,532	15,623	12,188

市町村名	面積 (H23.10.1) Km ²	人口 (H23.10.1)			世帯数 (H23.10.1) 世帯
		総数 人	男 人	女 人	
西八代郡	75.07	16,833	8,145	8,688	6,098
市川三郷町	75.07	16,833	8,145	8,688	6,098
南巨摩郡	a)984.47	40,171	19,292	20,879	15,002
早川町	369.86	1,174	582	592	675
身延町	a)302.00	14,062	6,691	7,371	5,495
南部町	200.63	8,828	4,274	4,554	3,052
富士川町	111.98	16,107	7,745	8,362	5,780
中巨摩郡	9.14	18,099	9,220	8,879	7,470
昭和町	9.14	18,099	9,220	8,879	7,470
南都留郡	*a)420.78	48,915	24,339	24,576	17,242
道志村	79.57	1,893	946	947	592
西桂町	15.18	4,510	2,182	2,328	1,449
忍野村	25.15	8,740	4,697	4,043	2,848
山中湖村	*52.81	5,299	2,588	2,711	1,773
鳴沢村	*89.56	2,954	1,430	1,524	1,026
富士河口湖町	a)158.51	25,519	12,496	13,023	9,554
北都留郡	154.20	1,464	711	753	681
小菅村	52.65	804	381	423	349
丹波山村	101.55	660	330	330	332

■人口・世帯数は、平成23年10月1日現在の山梨県常住人口調査の推計値です。平成22年10月1日現在の国勢調査確報値に以後の動態を増減したものです。
■面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」によります。
なお、*印は総務省自治行政局発行の全国市町村要覧（平成23年版）に記載されている便宜上の概算数値です。
またa)について、本栖湖（4.70km²）は、水面が境界未定のため、南巨摩郡身延町と南都留郡富士河口湖町の面積に含みません。ただし、県計、郡部計には含みます。

合併した市町村の現状

合併後の名称	合併年月日	合併関係市町村
甲府市	平成18年 3月 1日	甲府市、中道町、上九一色村（北部地域）
山梨市	平成17年 3月22日	山梨市、牧丘町、三富村
南アルプス市	平成15年 4月 1日	八田村、白根町、芦安村、若草町、櫛形町、甲西町
北杜市	平成16年11月 1日	明野村、須玉町、高根町、長坂町、大泉村、白州町、武川村
北杜市	平成18年 3月15日	[再合併] 北杜市、小淵沢町
甲斐市	平成16年 9月 1日	竜王町、敷島町、双葉町
笛吹市	平成16年10月12日	石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町
笛吹市	平成18年 8月 1日	[再合併] 笛吹市、芦川村
上野原市	平成17年 2月13日	上野原町、秋山村
甲州市	平成17年11月 1日	塩山市、勝沼町、大和村
中央市	平成18年 2月20日	玉穂町、田富町、豊富村
市川三郷町	平成17年10月 1日	三珠町、市川大門町、六郷町
富士川町	平成22年 3月 8日	増穂町、鯉沢町
身延町	平成16年 9月13日	下部町、中富町、身延町
南部町	平成15年 3月 1日	南部町、富沢町
富士河口湖町	平成15年11月15日	河口湖町、勝山村、足和田村
富士河口湖町	平成18年 3月 1日	[再合併] 富士河口湖町、上九一色村（南部地域）

歴史

History

■原始・古代

山梨県の大地に人々の営みが認められるのは、約3万年前からです。原始社会は、狩りや魚とり、木の実を採集する段階から、やがて米づくりの段階へと進み、ムラが統合されてクニが形成されます。

4世紀末から大丸山古墳や銚子塚・丸山塚古墳が造られますが、このことから甲府市中道地区の曽根丘陵に大きな勢力が存在していたことがうかがえます。

8世紀の山梨は、甲斐国といひ「山梨・八代・巨麻・都留」の4郡からなり、その中心は、国府・国衙の地名や国分寺があることから今の笛吹市の春日居町、御坂町、一宮町付近にあったといわれています。

12世紀に入ると公家による古代国家の体制は揺らぎ、その中から台頭してきたのが武家でした。1131年ころ、甲斐国には源義清、清光の親子が入り、甲斐源氏を興します。

■中世・近世

甲斐源氏の諸氏のうち、武田氏や小笠原氏、南部氏などは後世まで繁栄します。

16世紀の武田氏は、戦国大名として発展し、甲府につつじヶ崎館や要害城を築き、ここを拠点に四隣経路を進め、天下統一を目指しました。

1582年武田氏滅亡後の甲斐国は、織田・豊臣・徳川と支配が移り、江戸幕府の下で、甲府藩(国中)・谷村藩(郡内)が成立しますが、1724年には幕府直轄地となります。甲州街道や富士川舟運の発達は、物資の流通や文化の流入を促しました。

19世紀に入ると、幕藩体制の矛盾から各地に一揆が多発し、本県でも天保騒動がおこりました。このころ、日本は欧米諸国の圧

力により鎖国を解き、近代国家への道を歩み始めることとなります。

■近代・現代

甲州は、明治元年(1868)3月、官軍の甲府城入城後、甲斐府から甲府県を経て、同4年11月20日に山梨県となります。(現在11月20日は「県民の日」)。

明治前半は、藤村県令の勸業政策により、製糸業やぶどう酒醸造業が育成されます。後半には、中央線が開通し、産業や文化が進展します。本県の農家は、小作地率が高く、大正から昭和にかけて小作争議が多発しています。富士川舟運は、中央線の開通によって急激に衰退し、身延線の開通する昭和初期にはその歴史を閉じます。

昭和20年(1945)、終戦を迎え、戦後の農地改革によって自作農中心の体制となり、その後の農業経営は果樹への転換が著しくなります。高度経済成長期には本県でも商工業が発達しました。さらに、昭和57年(1982)の中央自動車道の新全線開通後、物流に拍車がかかり、ますますの工業化が進んで今日に至っています。



丸山塚古墳

- 24年(1891) 県下に郡制を施行。本県に府県制を施行。
- 27年(1894) 甲府市西青沼に甲府測候所開設。
- 30年(1897) 甲府魚市場開業。
- 32年(1899) 県会議員選挙直接選挙制となる。開国橋開通。
- 33年(1900) 県立山梨県中学校を甲府城跡に新築移転。甲府電力会社開業。
- 35年(1902) 山梨県高等女学校を寿町に開校。中央線笹子隧道貫通、中央線大月駅まで開通(翌年韮崎駅まで開通)。
- 37年(1904) 甲府城跡を開放して舞鶴公園とする。
- 38年(1905) 東京～甲府間電話開通。
- 42年(1909) 県内各地で耕地整理着手。
- 44年(1911) 御料林を山梨県へ下賜の御沙汰書。中央線新宿～名古屋間全線開通。

大正

- 元年(1912) 山梨県恩賜県有財産管理規則制定。
- 5年(1916) 県病院新築完成。
- 9年(1920) 恩賜記念の謝恩塔が舞鶴公園に完成。第1回国勢調査、県人口58万3453人。県下初の鉄筋コンクリート橋、笛吹川鷯飼橋竣工。
- 12年(1923) 富士川の鰍沢～身延間に飛行艇(プロペラ船)就航。
- 14年(1925) 県営八ヶ岳牧場開設。

昭和

- 3年(1928) 富士身延線鉄道全線開通。
- 5年(1930) 県庁新庁舎完成。県産繭額明治以来最高の463万貫を記録。
- 6年(1931) 中央線甲府～新宿間電化。
- 7年(1932) 富士山測候所開設。
- 10年(1935) 国鉄小海線全線開通。
- 11年(1936) 富士箱根国立公園指定。
- 16年(1941) 富士身延線が国鉄身延線となる。
- 19年(1944) 酒石酸生産のためブドウの生食禁止。東海大地震で甲府にも被害。
- 20年(1945) 甲府大空襲、全市の74%が焦土と化す。
- 23年(1948) 県教育委員会発足。第1回県芸術祭開催。
- 24年(1949) 山梨大学開学。
- 25年(1950) 「山梨県の歌」決まる。第1回全国植樹祭開催。
- 29年(1954) 塩山町が奥野田村を合併、町村合併促進法に基づく合併第1号。県立精神病院開院。
- 32年(1957) 県営西山発電所営業発電開始。
- 33年(1958) 国道20号に新笹子トンネル開通。



新笹子トンネル開通

- 34年(1959) 県農試果樹分場でジベレリン処理による種なしブドウの栽培に成功。
- 35年(1960) アメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結。
- 37年(1962) 甲府市で初の下水道使用開始。
- 39年(1964) 富士山有料道路(スパルライン)開通。
- 40年(1965) 富士山頂で世界一の気象レーダー始動。
- 41年(1966) 県立北病院開院。
- 42年(1967) 新御坂トンネル開通。
- 44年(1969) 山梨県開発公社発足。第1回信玄公祭り開催。県立中央病院開院。
- 45年(1970) 愛宕山こどもの国完成。河口湖大橋開通。
- 46年(1971) 昇仙峡グリーンライン開通。
- 47年(1972) 甲府精進湖有料道路開通。身体障害者福祉センター、身体障害者更生相談所開所。ブラジル連邦共和国ミナス・ジェライス州と姉妹締結。
- 48年(1973) ワインセンター完成。広瀬ダム完成。県流通センター、田富町(現中央市)にオープン。県立美術館開館。
- 49年(1974) 南アルプススーパー林道開通。中道町(現甲府市)で方形周溝墓群を発掘。
- 52年(1977) 県立山梨医科大学開学。甲府北バイパス全線開通。宝石美術専門学校開校。
- 53年(1978) 金川曾根広域農道竣工。県立考古博物館開館。中央自動車道全線開通。県民文化ホール竣工。
- 54年(1979) 県立美術館開館。南アルプススーパー林道開通。中道町(現甲府市)で方形周溝墓群を発掘。
- 55年(1980) 国立山梨医科大学開学。
- 56年(1981) 甲府北バイパス全線開通。宝石美術専門学校開校。
- 57年(1982) 金川曾根広域農道竣工。県立考古博物館開館。中央自動車道全線開通。県民文化ホール竣工。
- 58年(1983) 県立あさひワークホーム竣工。
- 59年(1984) 県立総合婦人会館竣工。県歴史文化公園条例制定。新甲府駅舎がオープン。

- 60年(1985) 高山植物保護に関する条例を制定。中国四川省と友好県省締結。県地場産業センターオープン。
- 61年(1986) 情報公開制度スタート。丘の公園、清里の森オープン。かいじ国体、ふれあいのかいじ大会開催。第1回県民の日。
- 62年(1987) 第1回ふれあいやまなしことぶき祭り開催。
- 63年(1988) 第1回全国スポーツ・レクリエーション祭開催。

平成

- 元年(1989) リニア新実験線建設地が山梨に決定。東富士五湖道路全線開通。県立文学館開館。
- 2年(1990) 第14回全国高等学校総合文化祭開催。第14回全国育樹祭開催。国際交流センター竣工。
- 3年(1991) 県景観条例全面施行。
- 4年(1992) 大韓民国忠清北道と姉妹締結。県工業技術センター竣工。情報教育センター竣工。
- 5年(1993) 環境首都憲章制定。富士山有料道路マイカー規制の実施。障害者幸住条例施行。
- 6年(1994) 山梨幸住県計画策定。長寿やまなし県民憲章策定。県立看護短期大学竣工。
- 7年(1995) 防災ヘリコプター「あかふじ」運航開始。アイメッセ山梨竣工。笛吹川フルーツ公園オープン。
- 8年(1996) 地方病の流行終息宣言。富士ふれあいの村開村。
- 9年(1997) 山梨百名山選定。県環境科学研究所開所。8月8日を「やまなし『山の日』」に制定。
- 10年(1998) 雁坂トンネル開通。県立看護大学開学。県立科学館開館。県立フラワーセンター開園。富士山憲章制定。
- 11年(1999) 新行政改革大綱策定。県立産業技術短期大学校開校。県民情報プラザ開設。
- 12年(2000) フランス共和国ソヌ・エ・ロアール県と姉妹締結。小瀬スポーツ公園アイスアリーナ竣工。
- 13年(2001) かいじきらめき国体開催。新県立中央病院が第1期開院。
- 14年(2002) 中部横断自動車道白根IC～双葉JCT間開通。
- 15年(2003) 「平成の大合併」県内第一号として、新・南部町誕生。中央自動車道上野原IC～大月JCT間の6車線化拡幅工事が完成。行財政改革プログラム策定。
- 16年(2004) 山梨県長期総合計画「創・甲斐プラン21」の策定。舞鶴公園稲荷櫓復元。富士の国やまなし館オープン。県立美術館新展示室オープン。
- 17年(2005) やまなし・ゆめふじ国体開催。県立中央病院全院開院。山梨県立大学開学。県立博物館開館。
- 18年(2006) 中部横断自動車道「富沢IC(仮称)～六郷IC(仮称)」新直轄方式での整備決定。あけぼの医療福祉センター竣工。
- 19年(2007) 富士山の世界文化遺産暫定リスト登載。「チャレンジ山梨行動計画」の策定。中部横断自動車道増穂以南で本線工事に着手。
- 20年(2008) 富士・東部小児初期救急医療センターオープン。琴川ダムの供用開始。
- 21年(2009) 県立美術館に「ミレー館」オープン。やまなし観光推進機構が発足。山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター開所。
- 22年(2010) 県立中央病院と県立北病院が独立行政法人に移行。県立宝石美術専門学校が甲府紅梅地区再開発ビル「ココリ」に移転。
- 23年(2011) JR東海がリニア中央新幹線ルート提示、中間駅候補地の県内合意。恩賜林御下賜100周年記念大会開催。富士山の日条例制定。

明治

- 元年(1868) 官軍甲府入城。甲斐府を置く。
- 2年(1869) 甲斐府を廃し甲府県とする。
- 4年(1871) 甲府県を山梨県に改め、土肥実匡県令となる。
- 6年(1873) 大阪府参事藤村紫朗、山梨県権令となる(翌年県令となる)。
- 9年(1876) 県病院開院。
- 10年(1877) 初の県会議員選挙。第1回県会を太田町一蓮寺で開く。山梨県庁落成。



明治10年落成当時の山梨県庁

- 22年(1889) 市町村制施行。
- 23年(1890) 府県制公布。県に警察部を設置。

産業 Industry

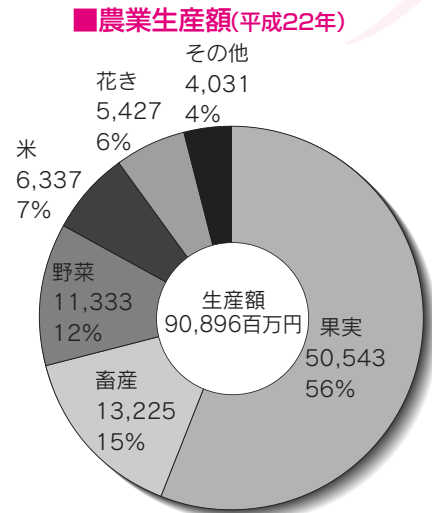
農業

■問い合わせ先 農政総務課 TEL 055-223-1583

山梨県の農業は、東京圏に近い有利な立地条件や変化に富んだ自然条件を活かしながら、農業者のたゆまぬ努力と高度な生産技術の確立などにより、果樹、水稲、野菜、花き、畜産などの特色ある産地を形成しています。中でも、果樹は農業生産額の5割以上を占め、ブドウ、モモ、スモモは、全国一の生産量を誇っています。今後も、「未来につながる はつらつとした山梨農業」の実現に向けて、担い手の経営力の向上、産地基盤の強化、販路の拡大等に総合的に取り組むとともに、地域住民との連携や創意工夫の下に、農村資源の活用を図り、農村に住む人や訪れる人たちが、魅力を享受できる農村づくりを進めます。



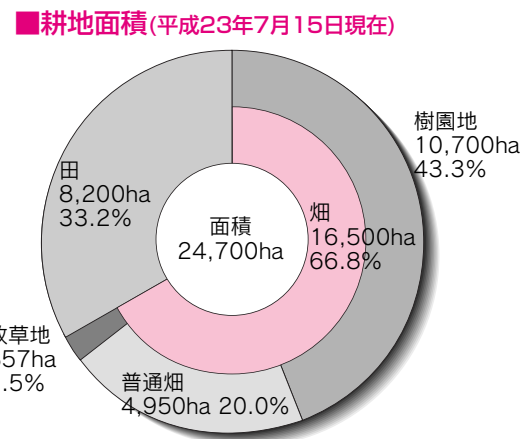
果樹園



資料：平成22年農業及び水産業生産額実績（山梨県農政部）

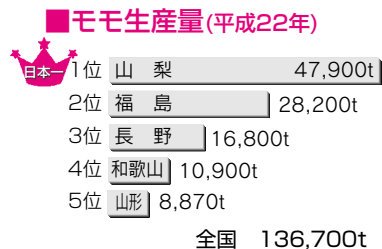
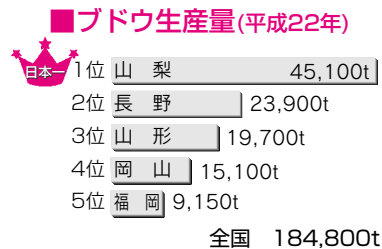


ブドウの収穫



注) 計と内訳が一致しないのは、統計表の基準により四捨五入したためである。
資料：耕地及び作付面積統計（農林水産省）

日本一の生産量を誇る「やまなしのくだもの」



資料：農林水産統計

林業

■問い合わせ先 森林整備課 TEL 055-223-1646

山梨県は、世界的な森林認証であるFSC森林管理認証を取得した県有林をはじめとして、森林が県土の約78%を占める全国有数の森林県です。このうちスギ・ヒノキ・カラマツ・アカマツなどの人工林が、森林面積の約44%にあたる約15万haとなっています。

この環境に負荷の少ない木材資源を循環利用し、持続可能な林業経営を進めるため、県下3カ所に県産材流通拠点を整備し、間伐材の利用促進などの木材需要拡大に努めています。

また、森林の持つさまざまな働きを一層発揮させるため、複層林や広葉樹林の造成、長伐期施業などの取り組みも進め、さらに、シイタケ、タケノコ、ワサビなど、特産林産物の生産も行っています。

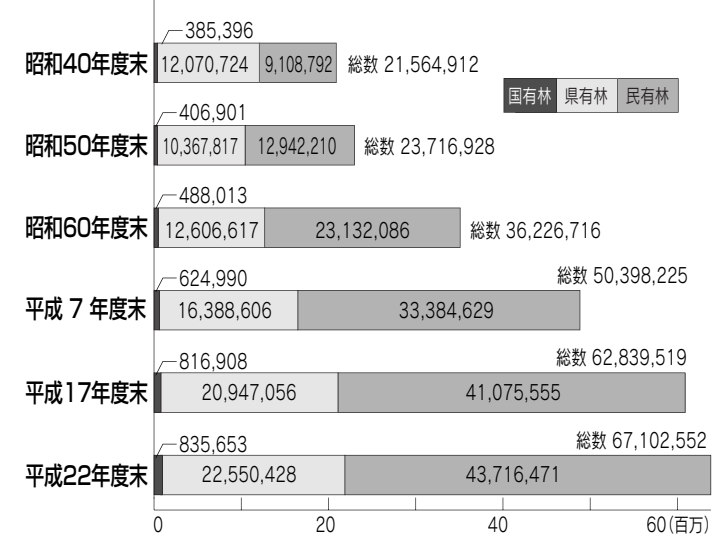


手入れ(間伐)された森林



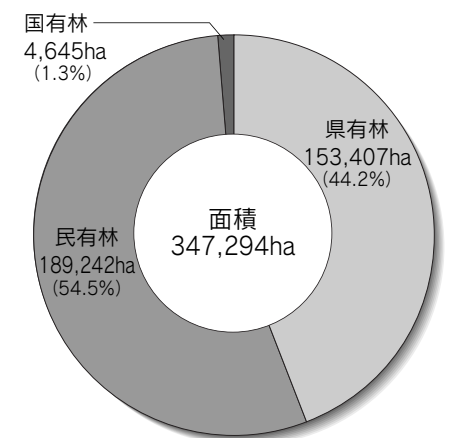
間伐材の有効利用

■森林蓄積の推移 (単位：m³)



資料：「山梨県林業統計書」の各年度の数値による。
※蓄積とは森林内立木の体積の総量をいう。

■所有形態別森林面積



資料：H23山梨県林業統計書

※県有林植樹用地は民有林に含む

■森林面積と森林比率

項目	全国	山梨
総面積	37,795千ha	446,537ha
森林面積	25,097千ha	347,294ha
森林比率	66.4%	77.8%

資料：全国「国土面積公表値H22」 山梨「H23山梨県林業統計書」
「2011森林・林業統計要覧」

■人工林面積と人工林比率

項目	全国	山梨
人工林面積	10,347千ha	153,291ha
人工林比率	41.2%	44.1%

資料：全国「2011森林・林業統計要覧」
山梨「H23山梨県林業統計書」

産業 Industry

商業

■問い合わせ先 商業について 商業振興金融課 TEL 055-223-1535
統計について 統計調査課 TEL 055-223-1343

山梨県の商業は、県民の豊かな生活を支えるとともに、本県経済の一翼を担う産業として発展してきました。近年、消費者ニーズの多様化、車社会の進展や郊外型大型店の出店による商圈の変化に加えて、人口減少社会への対応など、本県商業を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。

このため、時代の変化に対応した魅力ある商店街づくりなどを目指し、活力ある個店の創出や商店街の活性化等の取り組みが行われています。

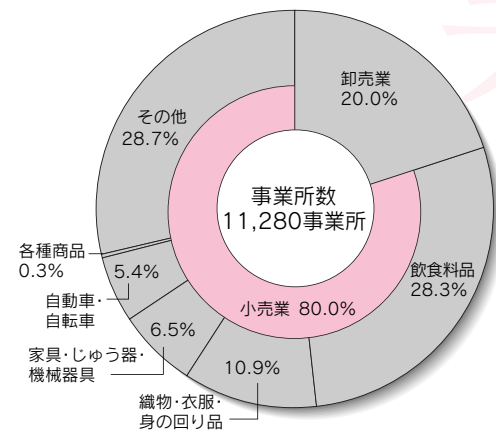


ベルメ桜町通り(甲府市)

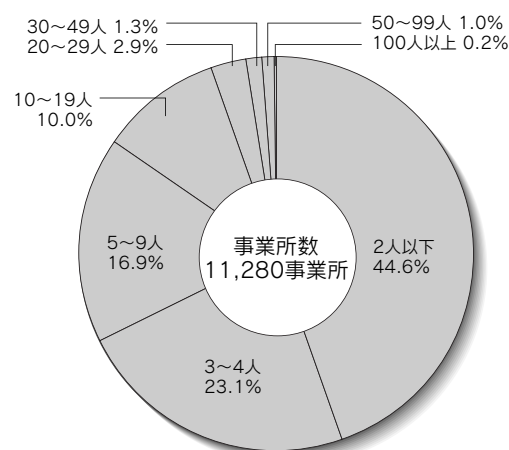


Fuji Sun Street(富士吉田市)

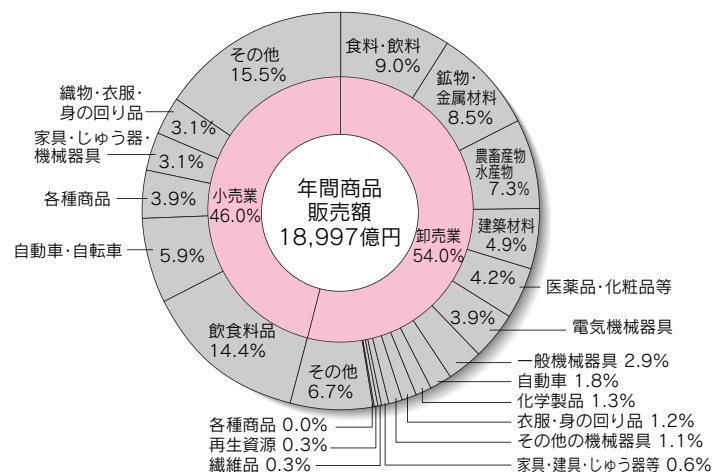
■業種別事業所数(平成19年)



■従業者規模別事業所数構成(平成19年)



■業種別年間商品販売額(平成19年)



(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない)
資料：商業統計調査結果報告

工業

■問い合わせ先 工業について 産業支援課 TEL 055-223-1543 統計について 統計調査課 TEL 055-223-1343

山梨県には、全国的にも有名なジュエリー、ワイン、織物、印章、和紙をはじめとして、本県の風土に根ざしたさまざまな地場産業があります。

さらに、エレクトロニクス(電子技術)やメカトロニクス(電子機械)などの先端技術産業の立地も進み、活発な生産活動が展開されています。

こうした中で、本県工業の製造品出荷額は高水準に推移してきており、工業は山梨県経済の大きなけん引力となっています。



上野原工業団地(上野原市)



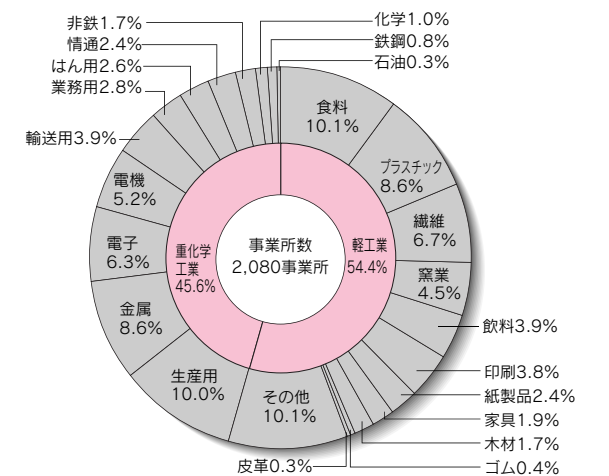
先端技術産業(北杜市)

■出荷額が全国の上位を占める主な産業(平成21年)

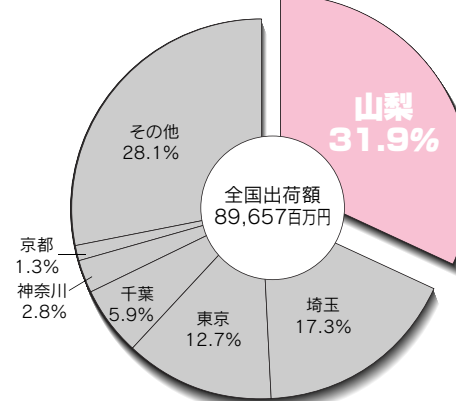
品目	出荷額	全国シェア	順位
	百万円	%	
貴金属製品	28,581	31.9	1
ミネラルウォーター	23,764	29.5	1
※電子回路形成用処理装置	87,804	18.9	1
フラットパネルディスプレイ製造装置	57,753	11.8	2
障子紙・書道用紙	1,027	14.1	3

※半導体製造装置の一つ 資料：工業統計表 品目編
注：順位については、公表している都道府県の中の順位である。

■産業別事業所数(平成22年)

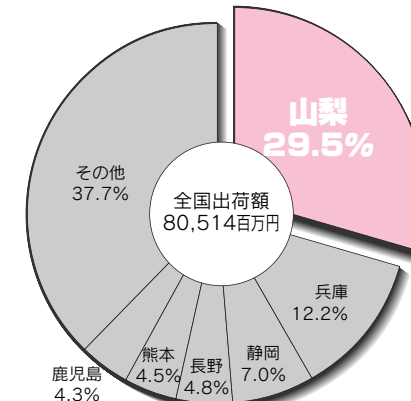


■貴金属製品出荷額の占める割合(平成21年)



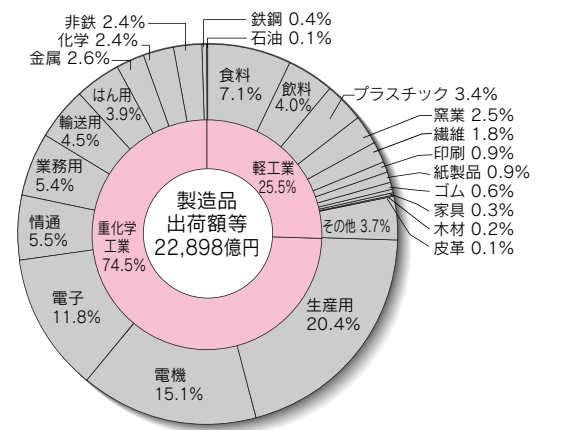
資料：工業統計表 品目編

■ミネラルウォーター出荷額の占める割合(平成21年)



資料：工業統計表 品目編

■産業別製造品出荷額等(平成22年)



※平成20年調査において、日本標準産業分類の改定が行われている。
(構成比については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない)
資料：工業統計調査結果速報 従業者4人以上の事業所

山梨県の姿を数値で表しました。

■全国からみた山梨

項目	比較年次	単位	本県		都道府県別			
			指標値	順位	最高値	最低値		
日照時間(年間) 	22年	時間	2,177	1	山梨県	2,177	秋田県	1,431
降水量(年間)	22年	mm	1,320	42	高知県	3,093	香川県	988
快晴日数(年間)※1	22年	日	29	10	埼玉県	49	沖縄県	3
降水日数(年間)※2	22年	日	112	27	石川県	197	香川県	87
雪日数(年間)※3	22年	日	13	29	北海道	129	沖縄県	0
年平均気温	22年	℃	15.2	33	沖縄県	23.1	北海道	9.8
最高気温(日最高気温の月平均の最高値)	22年	℃	34.2	17	鳥取県	35.5	北海道	29.1
最低気温(日最低気温の月平均の最低値)	22年	℃	-2.6	41	沖縄県	14.1	北海道	-6.3
年平均相対湿度	22年	%	65	35	富山県	80	群馬県 東京都	61

※1「快晴日数」は、日平均雲量(10分比)が1.5未満の日数

資料：甲府地方気象台資料

※2「降水日数」は、日降水量が1.0mm以上の日数

※3「雪日数」は、強度に関係なく、雪、しゅう雪、ふぶき、みぞれ、霧雪、細氷のうち一つ以上の大気現象を観測した日数。ただし、凍雨、雪あられ、氷あられ、ひょうは含めない

■全国からみた山梨

項目	比較年次	単位	本県		都道府県別			全国指標値	
			指標値	順位	最高値	最低値			
人口密度(可住地面積1km当たり)	22年	人	906.3	19	東京都	9,460.6	北海道	248.0	1,048.4
可住地面積割合(対総面積)	22年	%	21.3	44	大阪府	69.4	高知県	16.3	32.8
森林面積割合(対総面積)	21年	%	77.8	3	高知県	83.3	大阪府	30.5	65.6
自然公園面積割合(対総面積)	22年	%	27.1	7	滋賀県	37.3	広島県	4.5	14.5
都市公園面積(一人当たり)	21年	m ²	8.47	33	北海道	23.90	東京都	4.23	9.04

資料：社会生活統計指標(総務省統計局)

一人当たり県民所得

年度	全国実数(伸び率)	本県実数(伸び率)	水準
16	2,849 (1.6)	2,613 (-1.2)	91.7
17	2,865 (0.6)	2,665 (2.0)	93.0
18	2,937 (2.5)	2,729 (2.4)	92.9
19	2,965 (1.0)	2,760 (1.1)	93.1
20	2,756 (-7.0)	2,728 (-1.2)	99.0
21	2,660 (-3.5)	2,542 (-6.8)	95.6

水準は全国=100

資料：平成21年度県民経済計算年報

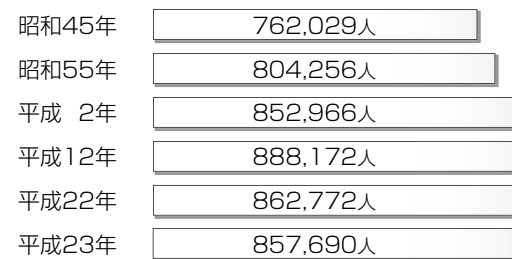
製造品出荷額等

年	製造品出荷額等	全国順位	対前年伸び率	伸び率順位
17	2,446,860	33	2.0%	28
18	2,559,442	32	4.6	29
19	2,751,359	33	—	—
20	2,657,593	35	-3.4	35
21	1,900,013	35	-28.5	46
22	2,289,837	33	20.5	2

(従業者4人以上の事業所) 資料：工業統計表、工業統計調査結果報告
22年数値は速報値による。

※19年調査において調査項目を変更したことにより、前年の数値とは接続しない。

人口



平成23年 **857,690人** (H23.10.1現在)

資料：国勢調査、山梨県常住人口調査

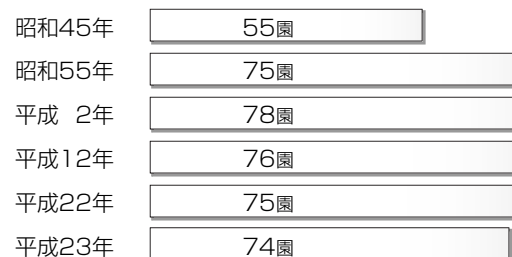
世帯数



平成23年 **328,891世帯** (H23.10.1現在)

資料：国勢調査、山梨県常住人口調査

教育・文化 幼稚園数(本園)



平成23年 **74園** (H23.5.1現在)

資料：学校基本調査報告書

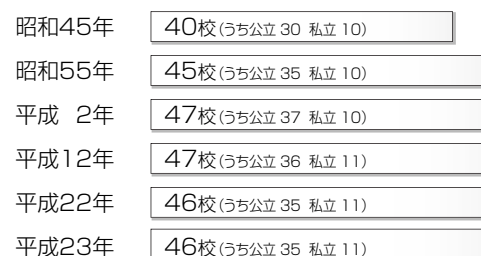
教育・文化 小学校・中学校数(本校)



平成23年 **289校** (H23.5.1現在)

(うち小学校194 中学校95)
資料：学校基本調査報告書

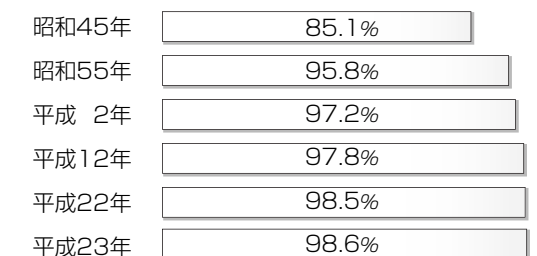
教育・文化 高等学校数(本校)



平成23年 **46校** (H23.5.1現在)

(うち公立35 私立11)
資料：学校基本調査報告書

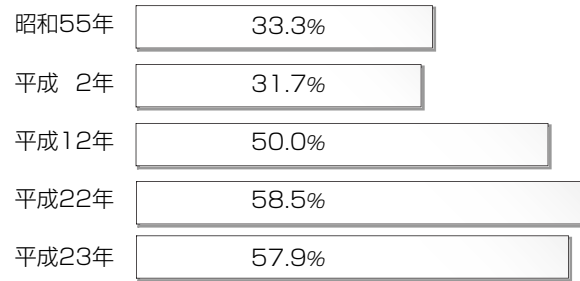
教育・文化 高等学校進学率



平成23年 **98.6%** (H23.5.1現在)

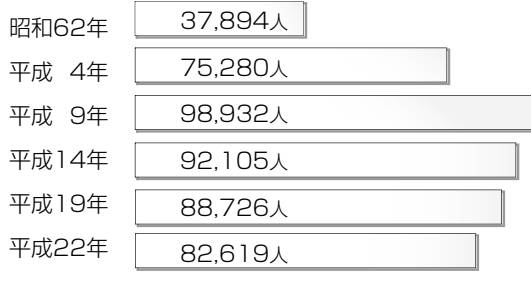
資料：学校基本調査報告書

教育・文化 **大学・短期大学等進学率**



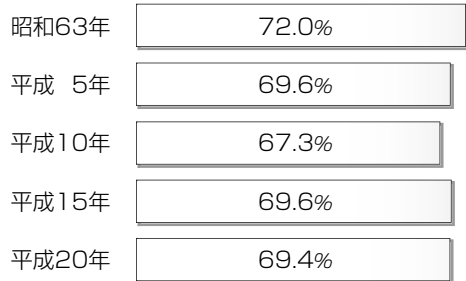
平成23年 **57.9%** (H23.5.1現在)
資料:学校基本調査報告書

教育・文化 **出国者数**



平成22年 **82,619人** (H23.6.30現在)
資料:出入国管理統計年報

生活環境 **持ち家住宅率**



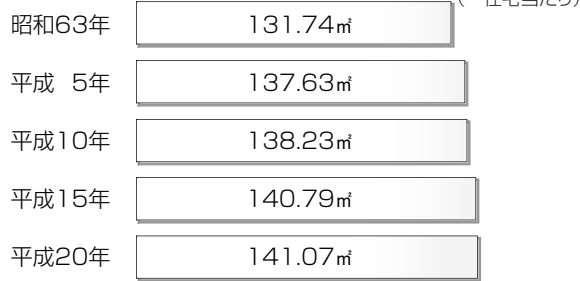
平成20年 **69.4%** (H20.10.1現在)
資料:住宅・土地統計調査報告

生活環境 **一戸建て持ち家住宅の敷地面積**



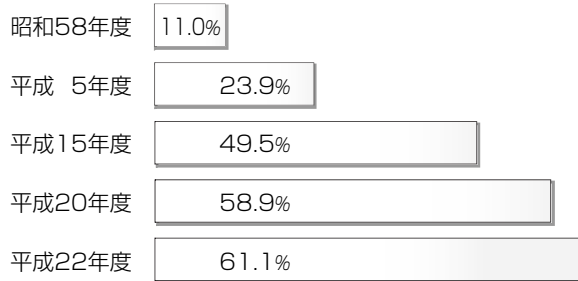
平成20年 **368㎡** (H20.10.1現在)
資料:住宅・土地統計調査報告

生活環境 **持ち家住宅の延べ面積**



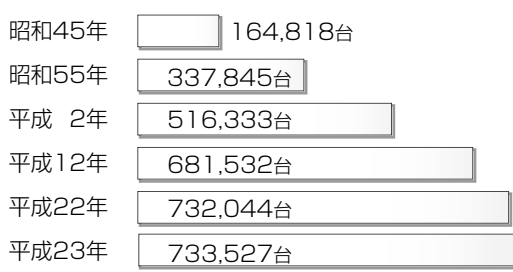
平成20年 **141.07㎡** (H20.10.1現在)
資料:住宅・土地統計調査報告

生活環境 **下水道普及率**



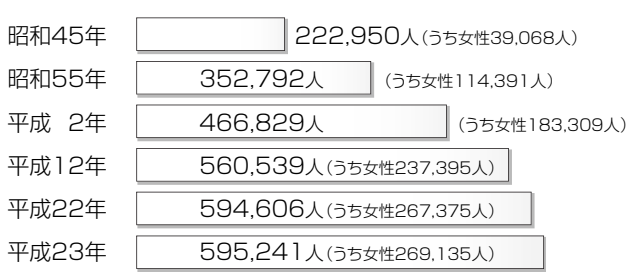
平成22年度 **61.1%** (H23.3.31現在)
資料:下水道課調べ

生活環境 **自動車保有台数**



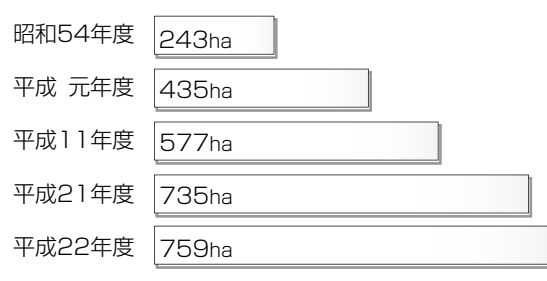
平成23年 **733,527台** (H23.12.31現在)
資料:統計調査課調べ

生活環境 **運転免許保有者数**



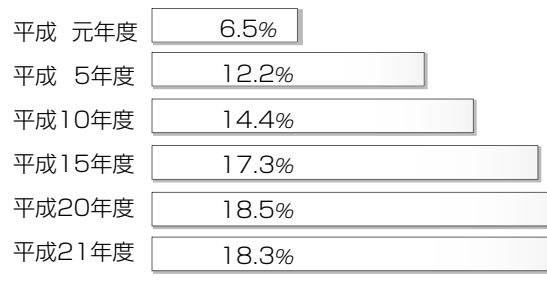
平成23年 **595,241人** (H23.12.31現在)
(うち女性269,135人) 資料:運転免許課調べ

生活環境 **都市公園面積**



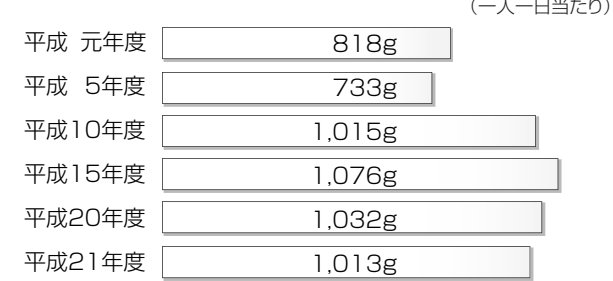
平成22年度 **759ha** (H23.3.31現在)
資料:都市公園整備現況調査

生活環境 **ごみリサイクル率**



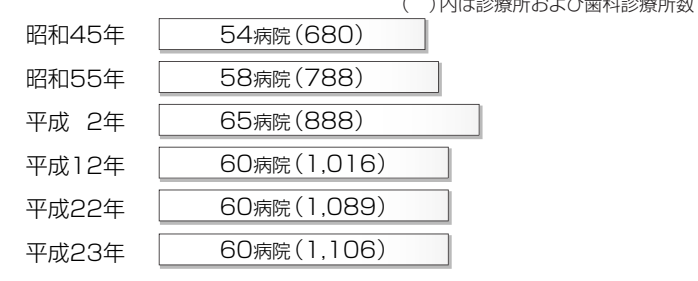
平成21年度 **18.3%** (H22.3.31現在)
資料:山梨の一般廃棄物

生活環境 **ごみ排出量**



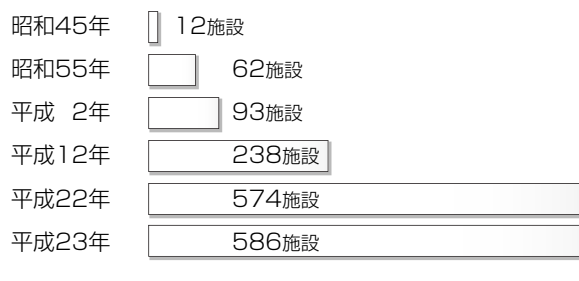
平成21年度 **1,013g** (H22.3.31現在)
資料:山梨の一般廃棄物

医療・福祉 **病院・診療所数**



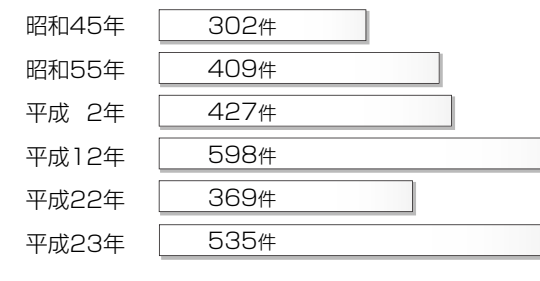
平成23年 **60病院 (1,106)** (H23.10.31現在)
資料:医療施設動態調査月報 (概数)

医療・福祉 **老人福祉施設数**



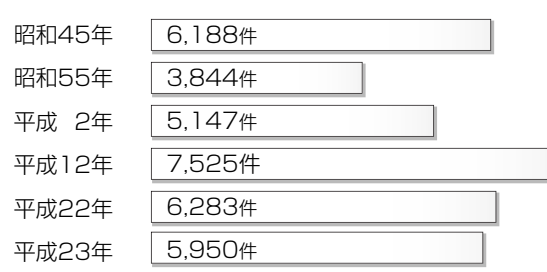
平成23年 **586施設** (H23.11.1現在)
資料:長寿社会課調べ

安全 **火災発生件数**



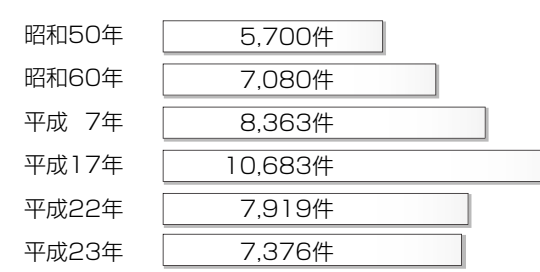
平成23年 **535件** (H23.12.31現在)
資料:火災報告

安全 **交通事故発生件数**



平成23年 **5,950件** (H23.12.31現在)
資料:交通企画課調べ

安全 **刑法犯罪認知件数**



平成23年 **7,376件** (H23.12.31現在)
資料:捜査第一課調べ

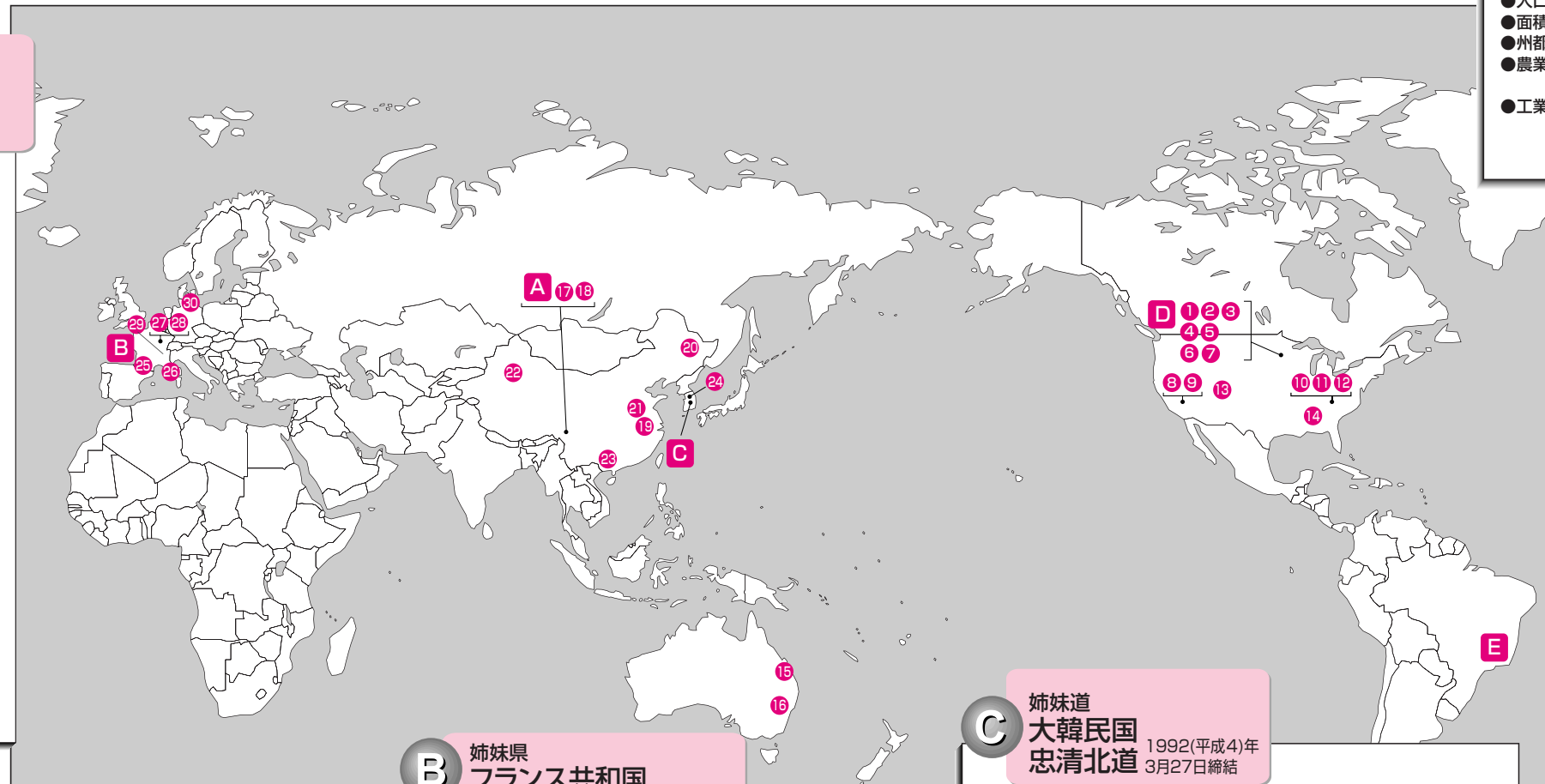
山梨県では、1960(昭和35)年に全国に先駆けてアメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結を行いました。その後ブラジル連邦共和国ミナス・ジェライス州、中華人民共和国四川省、大韓民国忠清北道と姉妹・友好締結を行っています。さらに、欧州での交流拠点としてフランス共和国ソーヌ・エ・ロアール県と姉妹締結を行いました。今後もこれら締結先との交流を一層深めるとともに、「国際化を推進する地域づくり」に取り組む中で、活発な国際交流活動を展開します。

A 友好省 中華人民共和国 四川省 1985(昭和60)年6月18日締結



広大な中国大陸の内陸部に位置し中央に盆地を有しています。かつては蜀の国として栄え、三国時代の勇将劉備玄德や諸葛孔明が活躍したことや、刺しゅう、漆器工芸など歴史的・文化的に本県と類似している面が多くあります。

- 人口 8,984万人
- 面積 48万5千km²
- 省都 成都市(人口1,142万人)
- 農業 水稻、菜種、生糸、柑橘、養豚、茶、漢方薬
- 工業 鉄鋼、化学工業、機械、IT



B 姉妹県 フランス共和国 ソーヌ・エ・ロアール県 2000(平成12)年4月7日締結



欧州地域における交流拠点として姉妹締結を行いました。フランスを代表するワインの産地であるブルゴーニュ地方南部に位置し、ソーヌ川とロアール川がゆったりと流れ、なだらかに連なる丘と豊かな田園風景が印象的です。

- 人口 55万人
- 面積 8千6百km²
- 県都 マコン市(人口3万4千人)
- 農業 ワイン、シャロレー牛、羊、プレス地鶏、チーズ
- 工業 金属、機械、食品加工

C 姉妹道 大韓民国 忠清北道 1992(平成4)年 3月27日締結



本県と同じく小白山脈と車嶺山脈等に囲まれた盆地が形成され「清風明月」の言葉でその風土性が表現されています。また、清州国際空港や高速鉄道、工業団地などのインフラ整備により、多くの先端企業が集まり、活気ある経済活動が展開されています。

- 人口 154万人
- 面積 7千4百km²
- 道都 清州市(人口65万人)
- 農業 ブドウ、高麗人参、畜産物加工品、唐辛子、リンゴ
- 工業 半導体、電機電子、バイオテクノロジー、化学

D 姉妹州 アメリカ合衆国 アイオワ州 1960(昭和35)年3月14日締結

昭和34年に本県が台風災害にあったとき、州から見舞いとして農畜産物が贈られたことが姉妹締結の直接の契機となりました。都道府県での姉妹関係としてはわが国での草分けとなりました。

- 人口 304万人
- 面積 14万5千km²
- 州都 デモイン市(人口20万人)
- 農業 トウモロコシ、大豆、豚、鶏卵、牛
- 工業 機械、食品、化学、バイオテクノロジー



E 姉妹州 ブラジル連邦共和国 ミナス・ジェライス州 1973(昭和48)年7月25日締結

研磨・宝飾産業が盛んである本県に対し、同州は貴金属の原石供給地であることから姉妹締結を行いました。本県とは地球の反対側に位置し、中南米における国際交流活動推進のための拠点となっています。

- 人口 1,959万人
- 面積 58万7千km²
- 州都 ベロオリゾンテ市(人口250万人)
- 農業 牧畜、コーヒー、大豆、サトウキビ、トウモロコシ
- 工業 鉱業、製鉄、セメント、自動車



県内市町村の国際交流

甲府市	1	アメリカ	アイオワ州	デモイン市
甲州市	2	"	"	エイムズ市
山梨市	3	"	"	スーシティ
南アルプス市	4	"	"	マーシャルタウン市
南アルプス市	5	"	"	ウインターセット市
甲斐市	6	"	"	キオカック市
市川三郷町	7	"	"	マスカティーン市

甲府市	8	アメリカ	カリフォルニア州	ロダイ市
韮崎市	9	"	"	フェアフィールド市
北杜市	10	"	ケンタッキー州	ベリア市
北杜市	11	"	"	マディソン郡
北杜市	12	"	"	リッチモンド市
富士吉田市	13	"	コロラド州	コロラド・スプリングス市
都留市	14	"	テネシー州	ヘンダーソンビル市
大月市	15	オーストラリア	クイーンズランド州	プレーザーコースト市
南アルプス市	16	"	ニューサウスウェールズ州	クインビヤン市

甲府市	17	中国	四川省	成都市
南アルプス市				
甲斐市				
中央市	18	"	"	都江堰市
昭和町				
山梨市	19	"	浙江省	杭州市蕭山区
韮崎市	20	"	黒龍江省	佳木斯市
笛吹市	21	"	山東省	肥城市
甲州市	22	"	新疆ウイグル自治区	トルファン市

西桂町	23	中国	広西チワン族自治区	桂林市靈川県
北杜市	24	韓国	京畿道	抱川市
甲府市	25	フランス	アキテーヌ州	ピレネー・アトランティック県ボー市
富士吉田市	26	"	ローヌ・アルプ州	オート・サヴォワ県シャモニー・モリアン市
笛吹市	27	"	ブルゴーニュ州	コート・ドール県ユイサン・ジュリエット市
甲州市	28	"	"	コート・ドール県ボーヌ市
鳴沢村	29	"	フランシュ・コンテ州	ジュラ県セリエール村
笛吹市	30	ドイツ	バーデン・ヴュルテンベルク州	バート・メルゲンタール市

The Challenge Yamanashi Action Plan

第二期チャレンジ山梨行動計画

●計画策定の趣旨

本県においては、リニア中央新幹線や中部横断自動車道など、将来の山梨の可能性を飛躍的に高める「やまなし発展の芽」が着実に育ちつつあります。

今後、これらの発展の芽を大きく育て上げ、県民の誰もが真の豊かさを実感できる山梨の実現に引き続きチャレンジしていくため、「第二期チャレンジ山梨行動計画」を平成23年10月に策定しました。

●計画の性格と役割

この計画は、本県の明るく元気な未来を実現するため、時代の潮流を踏まえた上で、これからの県づくりに向けた基本的な考え方や将来の姿を示す、県政運営の基本指針です。

また、これからの県づくりに当たり、県民の皆様をはじめ、国、市町村、ボランティア、NPOなど、多様な主体との協働・連携を進めるための共通目標を示す役割を併せ持っています。

●計画の構成と期間

この計画は、時代の潮流を示しながら、計画の基本理念や将来の本県の姿を明らかにした「長期的展望」と、2011（平成23）年度から2014（平成26）年度までの4年間に重点的に取り組む主要な施策・事業の内容、数値目標、工程などを明らかにした「行動計画」で構成します。

●計画の基本理念

「暮らしやすさ日本一の県づくり」 誰もが真の豊かさを実感できる山梨県の実現

「行動計画」は、県のホームページでご覧いただけます。

チャレンジ山梨 検索

次の県出先機関でも見る您可以通过。

県民情報センター TEL 055-223-1408

甲府市丸の内1-8-17（県庁西別館2F）

峡南地域県民センター TEL 0556-22-8131

南巨摩郡富士川町鯉沢771-2（南巨摩合同庁舎1F）

中北地域県民センター TEL 0551-23-3070

韮崎市本町4-2-4（北巨摩郡合同庁舎1F）

富士・東部地域県民センター TEL 0554-45-7839

都留市田原3-3-3（南都留合同庁舎1F）

峡東地域県民センター TEL 0553-20-2701

甲州市塩山上塩後1239-1（東山梨合同庁舎1F）

第二期チャレンジ山梨行動計画 概念図

暮らしやすさ日本一の実現

【行動計画】

基本目標 今後、達成すべき分野別の7つの基本的な目標

①「元気産業創出」
チャレンジ

②「環境先進地域」
チャレンジ

③「ウェルカム、おもてなし」
チャレンジ

④「交いの国」
チャレンジ

⑤「生涯あんしん地域」
チャレンジ

⑥「未来を拓く人づくり」
チャレンジ

⑦「改革続行」
チャレンジ

政 策 基本目標を達成するために、重点的に取り組む29の政策

施策・事業 それぞれの政策を構成する282の主要な施策・事業

【長期的展望】

基本理念 暮らしやすさ日本一の県づくり

将来像 10年後の本県の姿

本県の強みを活かし・高める

- 大都市に隣接（東京から近い）
- 自然が豊か・自然エネルギー資源が豊富
- 特色ある農産物や地場産業、高度な技術を有するものづくり産業
- 多彩な観光資源
- 健康長寿、お互いに支え合う精神
- 震災を契機とした本県の良さの再評価

本県の弱みを克服・打開する

- 高速交通網を活用した交流の推進
- 「進取の気性」の発揮

行財政改革の一体的な推進

時代の潮流と本県の課題

人口減少
社会の到来

地球温暖化の
進行

ICT利活用
社会の構築

社会・経済の
グローバル化の進展

安全・安心に対する
意識の高まり

新たな高速交通
時代の到来

分権型
社会への転換

知識基盤社会の到来と
科学技術の振興

財政再建と公共
サービス改革の進展

● 施策・事業

「暮らしやすさ日本一の県づくり」に向けた取り組みが、効果的・効率的に実施できるよう、その目的等を考慮し、これらを「基本目標－政策－施策・事業」の三段階に区分し、体系化します。

基本目標

今後、達成すべき分野別の7つの基本的な目標

政策

基本目標を達成するために、本県が、今後、重点的に取り組む29の政策

施策・事業

それぞれの政策を構成する282の主要な施策・事業

● 7つの基本目標：7つのチャレンジ

「暮らしやすさ日本一の県づくり」を実現するため、次の7つの基本目標を設定し、山梨の明るく元気な未来づくりに向け、持てる力を最大限に発揮させながら、ねばり強く「チャレンジ」していきます。

基本目標 1

「元気産業創出」チャレンジ

～世界へやまなしブランドを積極セールス。元気なやまなしを実現～

政策

- 1 成長分野への参入と新産業の集積
- 2 成長分野を支えるプラットフォームの充実
- 3 やまなしブランドの確立
- 4 地域経済の活性化と雇用の安定
- 5 未来の農業を担う担い手の確保と高収益農業の実現
- 6 中心市街地の活性化と商業の振興



やまなしブランドを国内外に向け情報発信

主な数値目標	現況値	目標値
成長分野進出に取り組む中小企業への支援件数（行動計画期間中の累計）	—	28件 (H26)
企業誘致数（行動計画期間中の累計）	—	50件 (H26)
産学官連携等の支援件数及び産学官共同研究実施件数（累計）	139件 (H22)	270件 (H26)
インターンシップに参加した県立高校生の参加割合	39.7% (H22)	45.0% (H26)
フィルム・コミッションの取扱件数	142件 (H22)	200件 (H26)
地場産品のブランド確立に向けた取り組み支援件数（累計）	45件 (H22)	125件 (H26)

主な数値目標	現況値	目標値
海外への販路拡大等を目指す中小企業者に対する支援件数（行動計画期間中の累計）	—	80件 (H26)
県立職業能力開発施設内で行う離転職者訓練終了3ヶ月後の就職率	61.2% (H22)	80.0% (H26)
県産果実の輸出額	253百万円 (H22)	500百万円 (H26)
新規就農者数	185人 (H22)	250人 (H26)
農産物直売所の販売額	4,852百万円 (H22)	6,500百万円 (H26)
中心市街地における歩行者通行量	167,392人 (H22)	172,000人 (H26)

基本目標 2

「環境先進地域」チャレンジ

～自然力を活かし、日本一環境にやさしい県やまなしを実現～

政策

- 1 自然力を活かしたクリーンエネルギーの導入促進
- 2 地球にやさしい省エネライフの推進と循環型社会の形成
- 3 活力ある林業の振興と豊かな森林の保全
- 4 自然と調和した美しい農山村づくりの推進
- 5 快適で美しい環境の保全



米倉山太陽光発電所

主な数値目標	現況値	目標値
太陽光発電（住宅用）による出力数	31,561kW (H22)	72,131kW (H26)
一人一日当たりごみ排出量	965g (H21)	901g (H26)
産業廃棄物排出量	1,300千トン (H21)	1,240千トン (H26)
民有林の森林経営計画等作成面積（累計）	44,484ha (H22)	48,900ha (H26)

主な数値目標	現況値	目標値
素材生産量	148千m ³ (H22)	250千m ³ (H26)
農業生産工程管理（GAP）導入産地数	8産地 (H22)	24産地 (H26)
耕作放棄地解消面積（累計）	545ha (H22)	1,250ha (H26)
市町村景観計画策定数	3団体 (H22)	22団体 (H26)

基本目標 3

「ウェルカム、おもてなし」チャレンジ

～観光で世界に開かれた「日本のスイス」やまなしを実現～

政策

- 1 地域のおもてなしの向上と地域資源を活かした観光の振興
- 2 やまなしの魅力発信と多様な交流の推進



「富士の国やまなし」観光フェア（中国・上海市内のショッピングストリートにて）

主な数値目標	現況値	目標値
県内延べ宿泊者数	5,877千人 (H22)	6,500千人 (H26)
峡南地域における滞在型市民農園整備地区数（行動計画期間中の累計）	—	4地区 (H26)

主な数値目標	現況値	目標値
県内外国人延べ宿泊者数	529千人 (H22)	700千人 (H26)
主要な交流施設における農業・農村体験者数	233千人 (H22)	250千人 (H26)

基本目標4 「交いの国」チャレンジ ～リニアと交通網の整備で、どこからも便利なやまなしを実現～

政策

- 1 地域をむすぶ幹線道路網の整備
- 2 公共交通の利便性向上の促進
- 3 交流を支える都市基盤整備の推進



整備計画が決定したリニア中央新幹線

主な数値目標	現況値	目標値
生活幹線道路の新規供用延長 (行動計画期間中の累計)	—	17.9km (H26)
リニア見学センター入館者数(累計)	1,667,387人 (H22)	2,050,000人 (H26)
市町村が運行するバス路線数	94路線 (H22)	114路線 (H26)

主な数値目標	現況値	目標値
主要渋滞ポイントにおける 渋滞交差点改良箇所数	20箇所 (H19～H22)	40箇所 (H23～H26)
電線類地中化延長	13.2km (H19～H22)	26.4km (H23～H26)

基本目標5 「生涯あんしん地域」チャレンジ ～誰もが健康に安心して暮らせるやまなしを実現～

政策

- 1 安心して暮らせる地域福祉の推進
- 2 県民の豊かな生活を守る保健医療の充実
- 3 あたたく多様な子育て支援
- 4 大規模地震・富士山火山防災体制の強化
- 5 災害に強い県土づくりの推進
- 6 誰もが快適で安全に暮らせる社会づくりの推進



4月1日から運用開始のドクターヘリ

主な数値目標	現況値	目標値
認知症サポート医養成者数	16人 (H22)	25人 (H26)
福祉施設から一般就労への移行数	81人 (H22)	123人 (H26)
がん検診受診率(大腸)	22.6% (H21)	50% (H26)
医療施設従事医師数	1,824人 (H22)	1,924人 (H26)
放課後児童クラブ設置数	209箇所 (H22)	224箇所 (H26)
延長保育実施保育所数	139箇所 (H22)	172箇所 (H26)

主な数値目標	現況値	目標値
地域防災出前講座の参加者数	1,279人 (H22)	1,710人 (H26)
地域防災リーダー養成講座の 参加者数(累計)	1,048人 (H22)	1,988人 (H26)
住宅の耐震化率	75.0% (H22)	88.2% (H26)
橋りょうの耐震化率	43.0% (H22)	75.0% (H26)
自主防犯ボランティア団体数	312団体 (H22)	340団体 (H26)
フラット歩道の整備延長(累計)	72.0km (H22)	94.0km (H26)

基本目標6 「未来を拓く人づくり」チャレンジ ～一人ひとりが充実した教育を受けられるやまなしを実現～

政策

- 1 豊かな個性を伸ばす教育環境づくり
- 2 生涯を通じて学ぶ環境づくり
- 3 芸術・文化・スポーツの振興



小・中学校における少人数学級

主な数値目標	現況値	目標値
全国学力・学習状況調査の全国平均 正答率との比較割合(小・中学校)	98.7% (H22)	100% (H26)
学校給食における県産食材の使用割合	23.2% (H22)	30% (H26)
県立文化施設(美術館、博物館、考古博物館、 文学館)で行われる郷土学習関連事業参加者数	18,439人 (H22)	25,000人 (H26)

主な数値目標	現況値	目標値
県立文化施設(美術館、博物館、考古博物館、 文学館)の企画展・イベント等開催件数	516回 (H22)	564回 (H26)
県営スポーツ公園(小瀬スポーツ公園、 富士北麓公園、緑が丘スポーツ公園)の利用者数	988千人 (H22)	1,027千人 (H26)

基本目標7 「改革続行」チャレンジ ～健全財政と県民主体行政のやまなしを実現～

政策

- 1 持続可能な財政の運営
- 2 効果的・効率的な行政運営
- 3 県民サービスの向上
- 4 地域の自主性・自立性を高める改革の推進



知事対話「県政ひざづめ談話」

主な数値目標	現況値	目標値
県債等残高の削減 (臨時財政対策債等を除く)	8,050億円 (H22)	7,450億円 (H26)
橋りょうの耐震補強等の長寿命化 (行動計画期間中の累計)	—	560橋 (H26)
県税徴収率	95.4% (H22)	96.1% (H26)
事業評価による平均見直し率	36.4% (H22)	50% (H26)
出資法人経営計画改定法人数 (行動計画期間中の累計)	—	27法人 (H26)

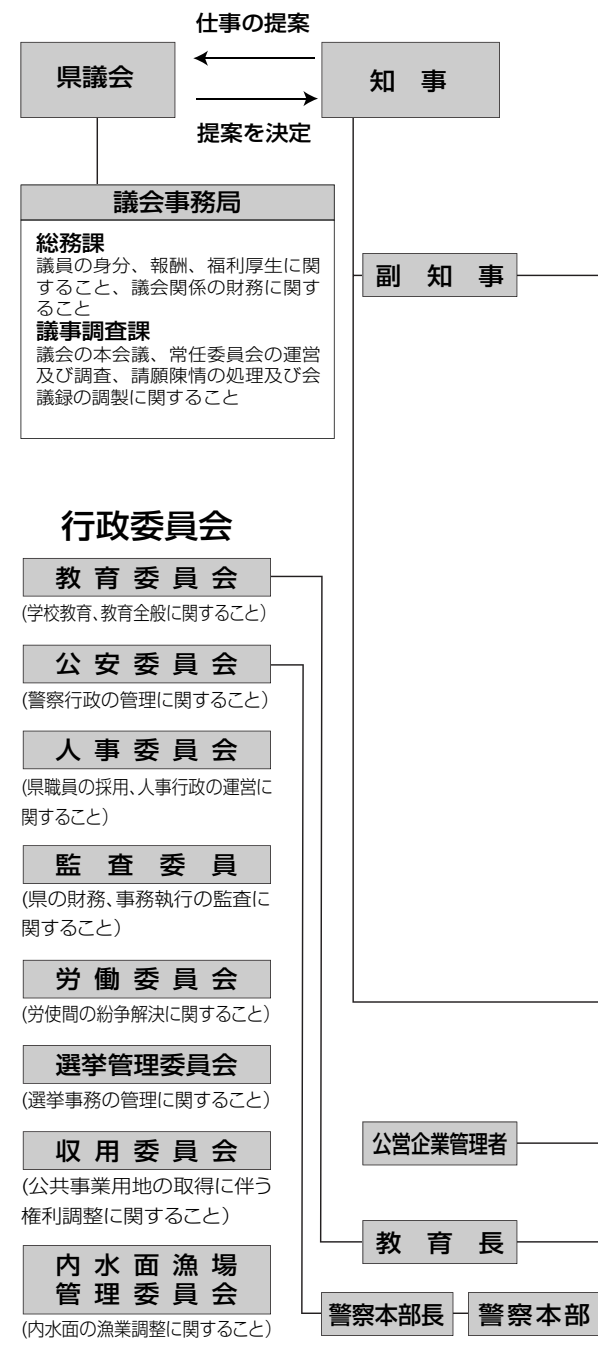
主な数値目標	現況値	目標値
公共工事以外の入札結果の ホームページ上での公開割合	10.9% (H22)	100% (H26)
電子申請可能な行政手続数	150件 (H22)	200件 (H26)
指定管理者施設利用者の 満足度80%以上の施設数	24施設 (H21)	30施設 (H26)
県とNPO等による協働事業実施数	90事業 (H22)	130事業 (H26)

県の組織 Prefectural Government Administrative Organization

県の組織は、議決機関としての県議会と執行機関としての知事及び行政委員会に大別されます。

県議会では、予算の決定や条例の制定など県の重要な方針を審議・決定し、知事及び各種行政委員会が事務を実施します。

知事の事務を処理するための補助機関として副知事その他の職員が置かれ、事務を体系的・効率的に執行するため、部局課室等の組織が設置されています。



知事政策局	政策立案、重要事項の総合調整、総合計画、公共事業の調整に関すること	秘書課 知事及び副知事の秘書、叙勲等、表彰に関すること	広聴広報課 広聴及び広報、報道機関との連絡に関すること	行政改革推進課 行財政改革、行政評価、組織管理に関すること
企画県民部	企画課 主要施策の課題の調整、科学技術の振興、出資法人、国土利用計画、地価調査・公示に関すること 県民生活・男女参画課 県民生活、男女共同参画社会推進、ボランティア・NPO、人権啓発、安全・安心まちづくりに関すること	世界遺産推進課 富士山世界文化遺産登録の推進に関すること 消費生活安全課 消費者行政、食の安全・安心及び食育の推進に関すること	北富士演習場対策課 北富士演習場問題の総合調整に関すること 生涯学習文化課 生涯学習の推進、芸術文化の振興に関すること	情報政策課 高度情報化推進施策の総合調整、電子自治体の推進に関すること (情報産業振興室) 情報通信産業の立地及び振興に関すること 統計調査課 統計調査及びその結果の分析に関すること
リニア交通局	リニア推進課 リニア実験線の建設促進、リニア中央新幹線に関すること	交通政策課 交通行政・交通安全対策の総合企画・総合調整に関すること	生涯学習文化課 生涯学習の推進、芸術文化の振興に関すること	国民文化祭課 国民文化祭の開催に関すること
総務部	人事課 人事、給与、服務、職員の研修に関すること 市町村課 市町村の振興、市町村行政の助言等、選挙管理委員会に関すること	職員厚生課 職員の福利厚生、健康管理、年金に関すること 防災危機管理課 災害対策、危機管理、国民保護に関すること	財政課 予算、地方交付税、地方債等県の財政に関すること (消防保安室) 消防及び危険物に関すること	税務課 県税に係る総合企画及び賦課徴収の指導に関すること 管財課 公有財産の管理、庁舎及び職員宿舍の管理に関すること 私学文書課 文書、条例規則、私立学校、民法法人、情報公開、宗教法人に関すること
福祉保健部	福祉保健総務課 地域福祉、社会福祉事業団体、災害救助、民生委員に関すること 医務課 医師・歯科医師等の身分、看護師、保健師、医療法人に関すること	(監査指導室) 社会福祉法人、社会福祉施設の監査指導に関すること 衛生薬務課 環境衛生、食品衛生、水道事業、と畜及び食鳥処理、薬事に関すること	長寿社会課 高齢化社会対策、介護保険、老人の生きがい対策に関すること 健康増進課 健康づくり、感染症、悪性新生物、母子保健、成人保健に関すること	国保課 国民健康保険の医療に係る指導監督、後期高齢者医療、旧軍人の恩給・叙勲等に関すること 児童家庭課 少子化対策、児童福祉、父子家庭・母子家庭・寡婦の福祉、児童委員に関すること 障害福祉課 障害者の福祉、自殺対策に関すること
森林環境部	森林環境総務課 森林環境施策の総合企画及び調整、部内の建設工事の請負契約に関すること 森林整備課 森林整備、森林計画、林地保全、採石、森林保護に関すること	環境創造課 地球温暖化対策、環境影響評価、エネルギー対策、リサイクルの推進、環境教育、環境管理計画に関すること 林業振興課 林業・木材産業構造改革、森林組合、林業金融、木材の流通、特用林産物、林業技術の普及に関すること	大気水質保全課 公害対策、公害紛争処理、地下水採取、合併処理浄化槽、温泉に関すること 県有林課 県有林管理計画、県有林野等の土地の取得・管理等、県有林野高度利用、保健休養林に関すること	環境整備課 公共関係による廃棄物最終処分場の整備、廃棄物対策、産業廃棄物処理業者の指導等、廃棄物の不法投棄対策に関すること 治山林道課 保安林事業、治山事業、林道事業、建設工事の設計に係る技術管理に関すること
産業労働部	産業政策課 産業振興に係る総合調整、中小企業団体の指導育成に関すること (海外展開・成長分野推進室) 中小企業の海外展開支援・成長分野への参入支援、燃料電池関連産業に関すること	商業振興金融課 商業・卸売業・サービス業の振興、中心市街地活性化対策、中小企業の金融対策に関すること	産業支援課 地場産業の振興、販路拡大、新産業創造のための総合支援、中小企業の技術振興に関すること	産業集積推進課 企業等の立地集積に関すること 労政雇用課 労働福祉、労働教育、地域雇用対策、良好な労使関係の促進に関すること 産業人材課 技術系人材の確保・育成、公共・民間職業訓練、技能振興、障害者の雇用に関すること
観光部	観光企画・ブランド推進課 観光に関する企画調査、おもてなしの推進、やまなしブランド戦略の推進、フィルム・コミッションの運営に関すること	観光振興課 観光の振興、観光宣伝、交流の推進に関すること	観光資源課 観光施設の整備、富士山保全対策、山岳観光に関すること	国際交流課 国際交流、海外技術協力、多文化共生の推進、国際観光の振興に関すること
農政部	農政総務課 農業施策の総合企画及び調整、部内の建設工事の請負契約、農業団体の指導・検査に関すること 花き農水産課 主要農産物及び花きの生産振興及び消費拡大、内水面漁業振興に関すること	農業技術課 農業改良及び農業生活改善、農業金融、農業技術情報、農業試験研究に関すること	農村振興課 農山村地域の振興対策、農地の利用調整に関すること (担い手対策室) 新規就農者の確保・育成、企業の農業参入の推進に関すること	果樹食品流通課 果樹・野菜の生産振興、果実等農畜産物の流通加工対策に関すること 耕地課 土地改良事業、農業用水、換地、土地改良財産に関すること
県土整備部	県土整備総務課 建設工事の電子入札、部内の建設工事の請負契約に関すること (高速道路推進室) 高速自動車道の建設・整備の推進に関すること 建築住宅課 公営住宅の計画・建設・管理、宅地建物取引業、建築物の指導、審査に関すること	(美しい県土づくり推進室) 美しい県土づくりの推進、景観対策に関すること 道路管理課 道路の維持管理、県道の路線認定、道路の防災対策に関すること	(建設業対策室) 建設業に関すること 治水課 河川及びダム管理・工事、災害復旧に関すること 営繕課 県有建築物の営繕に関すること	技術管理課 建設工事の技術管理業務に関すること 都市計画課 都市計画の策定、風致地区、街路、都市公園、区画整理・市街地開発事業に関すること 道路整備課 道路の企画、建設、事業調整、市町村道路事業の助成等に関すること 下水道課 流域下水道、公共下水道、都市下水道に関すること
会計管理者	出納局	会計課 現金、有価証券の出納、保管、歳入の収納及び歳出の支払い、決算の調製、国費に関すること	管理課 指導検査、物品の調達、出納、保管に関すること	工事検査課 工事の検査に関すること
公営企業管理者	企業局	総務課 局内の建設工事の請負契約、業務状況の公表、温泉事業、地域振興事業に関すること	電気課 電気事業の業務運営に関すること	
教育長	教育庁	総務課 教育行政の総合企画、教職員定数、学級編制、事務局職員の人事に関すること 福利給与課 教職員の給与、福利厚生、健康管理、恩給・年金に関すること (新図書館建設室) 新県立図書館の建設に関すること 社会教育課 成人教育、家庭教育、青少年教育、青少年行政に関すること	学校施設課 県立学校施設の建築計画・営繕、市町村立学校の施設整備の助成に関すること スポーツ健康課 スポーツ、学校給食、学校保健に関すること	義務教育課 公立小中学校教職員の人事、学校教育の指導に関すること (全国高校総体推進室) 全国高等学校総合体育大会の開催に関すること 高校教育課 県立学校教員の人事、学校教育の指導に関すること (新しい学校づくり推進室) 新しい学校づくりの推進に関すること 学術文化財課 文化財及び文化施設に関すること

東京事務所

- 中北地域県民センター
- 峡東地域県民センター
- 峡南地域県民センター
- 富士・東部地域県民センター
- 総合理工学研究機構
- 県民生活センター

- 職員研修所
- 総合県税事務所
- 消防学校

- 中北保健福祉事務所(保健所)
- 峡東保健福祉事務所(保健所)
- 峡南保健福祉事務所(保健所)
- 富士・東部保健福祉事務所(保健所)
- 女性相談所
- 中央児童相談所
- 都留児童相談所
- 甲陽学園
- こころの発達総合支援センター
- 障害者相談所
- 精神保健福祉センター
- あけぼの医療福祉センター
- 育精福祉センター
- 富士ふれあいセンター
- 衛生環境研究所
- 食肉衛生検査所
- 動物愛護指導センター

- 中北林務環境事務所
- 峡東林務環境事務所
- 峡南林務環境事務所
- 富士・東部林務環境事務所
- 環境科学研究所
- 森林総合研究所

- 計量検定所
- 工業技術センター
- 富士工業技術センター
- 宝石美術専門学校
- 産業技術短期大学
- 都留高等技術専門学校
- 峡南高等技術専門学校
- 就業支援センター

- 大阪事務所
- パスポートセンター

- 中北農務事務所
- 峡東農務事務所
- 峡南農務事務所
- 富士・東部農務事務所
- 東部家畜保健衛生所
- 西部家畜保健衛生所
- 水産技術センター
- 総合農業技術センター(病害虫防除所)
- 果樹試験場
- 畜産試験場
- 酪農試験場
- 専門学校農業大学校

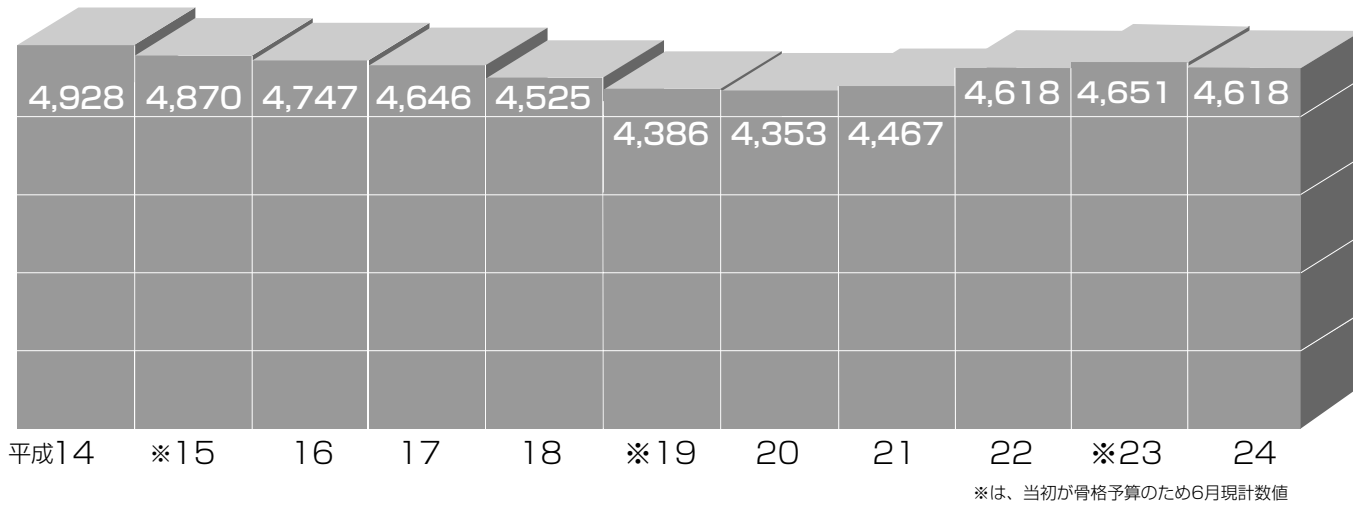
- 中北建設事務所
- 峡東建設事務所
- 峡南建設事務所
- 富士・東部建設事務所
- 中部横断自動車道推進事務所
- 新環状・西関東道路建設事務所
- 広瀬・琴川ダム管理事務所
- 荒川ダム管理事務所
- 大門・埴川ダム管理事務所
- 深城ダム管理事務所
- 流域下水道事務所

県の予算

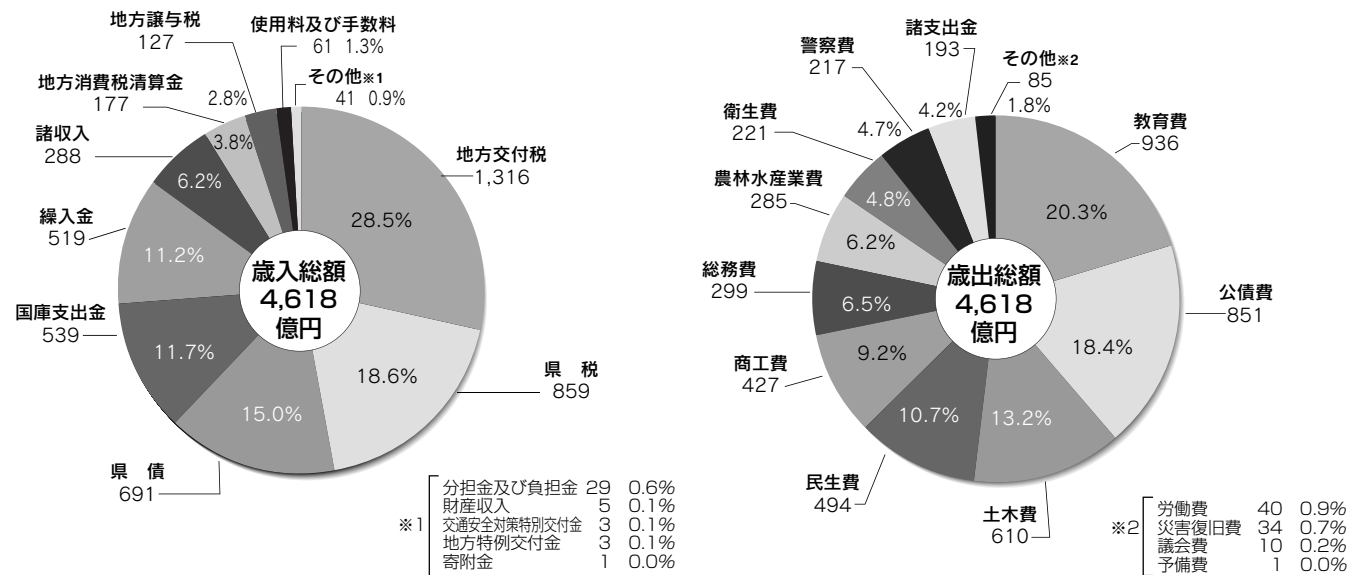
県では県民福祉の増進と県民生活の向上を図るため、各種施策を積極的に行っています。

平成24年度の一般会計予算は4,618億円

■一般会計当初予算額の推移 (単位：億円)



■歳入と歳出 (単位：億円)



当初予算 基本的な事務や事業を行うために年度のはじめに決められる予算です。2月～3月にかけて行われる県議会で決定されます。

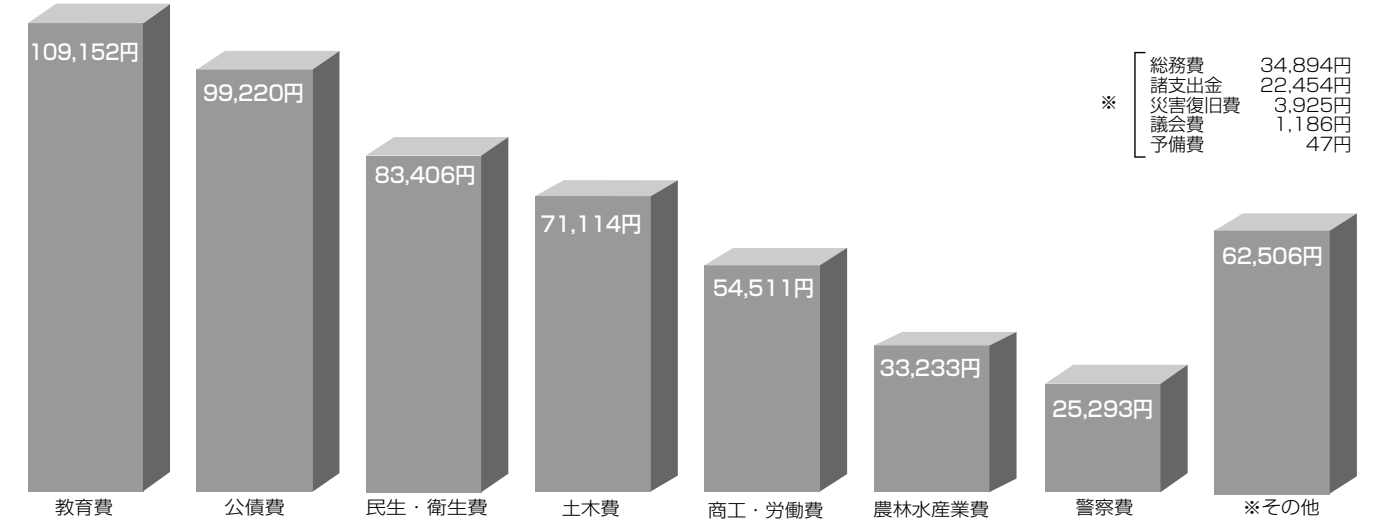
地方交付税 国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）の一部を原資として一定の行政水準を確保するために財源が不足する地方公共団体に配分されるものです。

県 債 県が歳出の財源を得るために、国や銀行などから借りる借入金のことです。

国庫支出金 国に関係のある事務の経費や特定の事業を推奨するために国から支出される補助金などです。

繰 入 金 特別会計や基金などから一般会計へ繰り入れるものです。

■県民一人当たりの予算額



教 育 費 教育施設の整備充実などに使われます。

公 債 費 県債の元利償還金の支払いに使われます。

民生・衛生費 生活に困っている人や老人、体の不自由な人のために使われます。

土 木 費 道路や橋などの整備に使われます。

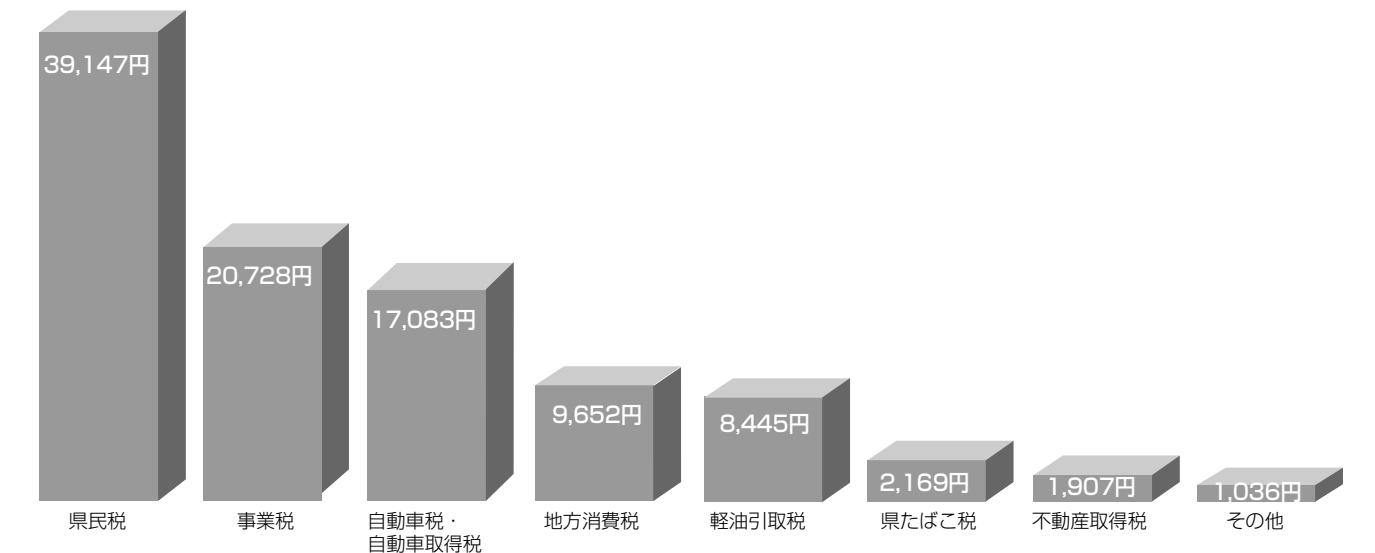
商工・労働費 商業や工業の振興に使われます。

農林水産業費 農業・林業・水産業の振興に使われます。

警 察 費 安全で安心な生活を守るために使われます。

(1円未満四捨五入。人口は平成23年10月1日現在、山梨県常住人口調査の推計値による857,690人)

■県民一人当たりの県税負担額



県 民 税 県内に住所のある個人または事務所等のある法人にかかります。

事 業 税 事業を営んでいる個人の所得または法人の所得・付加価値・資本等・収入にかかります。

自 動 車 税 自動車の所有者にかかります。

自動車取得税 自動車を取得したときにかかります。

地方消費税 5%の消費税のうち、1%が地方消費税として県の収入になります。

軽油引取税 軽油の引取等をしたときにかかります。

県たばこ税 卸売販売業者等が小売販売業者に売り渡したたばこの本数に応じてかかります。

不動産取得税 土地や家屋を取得したときにかかります。

(1円未満四捨五入。人口は平成23年10月1日現在、山梨県常住人口調査の推計値による857,690人)

電話相談

Telephone Inquiries

■県政に関する情報

県民情報センター(県庁西別館内)
☎055-223-1408

■行政相談・法律相談・消費生活相談・労働相談など

県民生活センター(山梨県JA会館内)
☎055-223-1366 (法律相談・行政相談など)
☎055-235-8455 (消費生活相談)
☎055-223-1369 (交通事故相談・労働相談)
県民生活センター地方相談室(南都留合同庁舎内)
☎0554-45-7843 ☎0554-45-5038
(法律相談・消費生活相談・労働相談など)
労働委員会事務局
☎055-223-1827(労働相談)

■犯罪被害者等に適切な情報提供

犯罪被害者等総合支援窓口
(県民生活・男女参画課内)
☎055-223-4180

■食品の表示や安全性に関する相談

食品安全110番(消費生活安全課内)
☎055-223-1638

■男女共同参画に関すること

男女共同参画推進センター
◎びゅあ総合 ☎055-235-4171
◎びゅあ峡南 ☎0556-64-4777
◎びゅあ富士 ☎0554-45-1666

■女性の悩み事全般・配偶者からの暴力に関する相談

女性相談所(配偶者暴力相談支援センター)(福祉プラザ内)
☎055-254-8635
男女共同参画推進センター(配偶者暴力相談支援センター)
◎びゅあ総合 ☎055-237-7830

■高齢者とその家族からの相談

高齢者総合相談センター(福祉プラザ内)
☎055-254-0110

■認知症高齢者に関する相談

認知症コールセンター(福祉プラザ内)
☎055-251-0001 月～金曜日 午後1時～5時

■介護に関する相談

介護実習普及センター(福祉プラザ内)
☎055-254-8680

■子どもに関する相談・助言・支援

中央児童相談所(福祉プラザ内)
☎055-254-8617
都留児童相談所
☎0554-45-7838

■子どものこころ及び発達障害に関する診療・相談等

こころの発達総合支援センター(福祉プラザ内)
子どものこころの相談 ☎055-254-8631
発達障害の相談(発達障害者支援センター)
☎055-254-8631

■心身に障害のある方の相談

障害者相談所(福祉プラザ内)
☎055-254-8671
富士ふれあいセンター
☎0555-72-5533

■健康を守るために

中北保健福祉事務所(中北保健所)
☎055-237-1403・1420・1380
中北保健福祉事務所峡北支所(中北保健所峡北支所)
☎0551-23-3074・3073
峡東保健福祉事務所(峡東保健所)
☎0553-20-2752・2753
峡南保健福祉事務所(峡南保健所)
☎0556-22-8158・8155
富士・東部保健福祉事務所(富士・東部保健所)
☎0555-24-9035・9034

■医療に関する相談など

医療安全相談コーナー
医務課 ☎055-223-1481
各保健福祉事務所(上記「健康を守るために」の欄を参照)

■小児救急電話相談

☎#8000 毎日 午後7時～11時

■女性の健康に関する相談

女性健康相談センター(各保健所 健康支援課内)
月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分
中北保健所 ☎055-237-1380
中北保健所峡北支所 ☎0551-23-3073
峡東保健所 ☎0553-20-2753
峡南保健所 ☎0556-22-8155
富士・東部保健所 ☎0555-24-9034

■不妊に関する相談

不妊相談センター ルピナス(山梨県JA会館内)
☎055-223-2210 毎週水曜日 午後3時～7時

■難病に関する相談

難病相談・支援センター(中北保健福祉事務所内)
☎055-223-3241

■リハビリテーションに関する相談

中北地域リハビリテーション広域支援センター
(竜王リハビリテーション病院内)
☎055-276-1155
峡東地域リハビリテーション広域支援センター
(甲州リハビリテーション病院内)
☎055-262-8181
峡南地域リハビリテーション広域支援センター
(しもべ病院内)
☎0556-36-1111
富士・東部地域リハビリテーション広域支援センター
(ツル虎ノ門外科リハビリテーション病院内)
☎0554-45-8861

■心理的・精神的不健康状態の予防に関する相談

ストレスダイヤル(福祉プラザ内)
☎055-254-8700
自殺防止電話相談(こころの健康相談統一ダイヤル)
☎0570-064556

■環境に関する相談

中北林務環境事務所 ☎0551-23-3090
峡東林務環境事務所 ☎0553-20-2739

峡南林務環境事務所 ☎055-240-4141
富士・東部林務環境事務所 ☎0554-45-7811

■林業への就職に関する相談

山梨県林業労働センター((財)山梨県林業公社内)
☎055-242-6667

■中小企業の融資に関する相談

中小企業金融相談窓口(商業振興金融課内)
☎055-223-1554

■中小企業の創業、経営基盤等の強化、下請取引に関する相談

(公財)やまなし産業支援機構

☎055-243-1888

■中小企業の新商品開発、販路開拓、経営革新等に関する相談窓口

中小企業サポート連携拠点
◎(公財)やまなし産業支援機構 ☎055-243-1888
◎山梨県商工会連合会 ☎055-235-2115
◎山梨県中小企業団体中央会 ☎055-237-3215
◎甲府商工会議所 ☎055-233-2241
◎富士吉田商工会議所 ☎0555-24-7111
◎(株)山梨中央銀行 ☎055-224-1091
◎都留信用組合 ☎0555-24-4857

■貿易に関する相談

山梨貿易相談センター((公財)やまなし産業支援機構内)
☎055-243-1888

■若者の就職に関する相談

ジョブカフェやまなし(山梨県JA会館内)
☎055-233-4510
ジョブカフェサテライト(富士山駅ビル内)
☎0555-72-8803

■求職者の生活や就労に関する相談

山梨県求職者総合支援センター(山梨県JA会館内)
☎055-226-8609

■中高年齢者、女性、U・Iターン希望者の就職に関する相談

人材紹介バンクやまなし(労政雇用課内)
☎055-223-1562

■U・Iターン就職に関する相談

やまなしU・Iターン就職支援室(山梨県東京事務所内)
☎03-5213-2890

■職業訓練と就職に関する相談

就業相談・就職情報提供コーナー(就業支援センター内)
☎055-251-3210

■農業を始めるための相談

就農支援センター(山梨県農業振興公社内)
☎055-223-5747

■地震に強い住宅の建築等に関する相談・住宅リフォーム相談窓口

建築住宅課 ☎055-223-1734
中北建設事務所 ☎055-224-1674
峡東建設事務所 ☎0553-20-2718
峡南建設事務所 ☎055-240-4133
富士・東部建設事務所 ☎0554-22-7817
(社)山梨県建築士会 ☎055-233-5414

■県営住宅入居相談

山梨県住宅供給公社 ☎055-237-1656

■アスベストに関する相談

◎健康相談窓口
各保健福祉事務所(前ページ「健康を守るために」の欄を参照)
◎周辺環境及び廃棄物処理に関する相談窓口
大気水質保全課 ☎055-223-1510
環境整備課 ☎055-223-1518
◎住宅等の建材に関する相談窓口
建築住宅課 ☎055-223-1734
中北建設事務所 ☎055-224-1674
峡東建設事務所 ☎0553-20-2718
峡南建設事務所 ☎055-240-4133
富士・東部建設事務所 ☎0554-22-7817

■小水力発電の開発についての相談

小水力発電開発支援室(企業局電気課内)
☎055-223-5390

■子どもの教育についての相談

総合教育センター(相談支援部)
◎いじめ・不登校ホットライン ☎055-263-3711
※全国共通の「24時間いじめ相談ダイヤル」
☎0570-0-78310でも上記番号に接続されます。
(県内からダイヤルした場合)
◎障害のある子の就学相談等 ☎055-263-4606

■教育に関すること

中北教育事務所 ☎0551-23-3008
峡東教育事務所 ☎0553-20-2731
峡南教育事務所 ☎0556-22-8154
富士・東部教育事務所 ☎0554-45-7841

■子育てに関する相談

子育て相談総合窓口(かるかも)
(男女共同参画推進センターびゅあ総合内)
☎055-228-4152・4153
安心子育てテレホン ☎055-252-0192

■子どもの悩み・保護者の悩みに関する相談

ヤングテレホン甲府 ☎055-235-4444
ヤングテレホン吉田 ☎0555-22-4444

■警察総合相談窓口

警察総合相談室
☎055-233-9110(プッシュ式#9110)

■暴力団犯罪に関する相談

(公財)山梨県暴力追放運動推進センター
☎055-227-5420

■けん銃に関すること

銃器110番 ☎0120-10-3774

■薬物に関すること

薬物110番 ☎055-228-8974

■環境犯罪に関すること

環境犯罪110番 ☎055-223-5374

■性犯罪に関すること

性暴力110番 ☎055-224-5110

味 モモ (旬: 7月~8月)

栽培面積、生産量ともに日本一です。「白鳳」や「浅間白桃」などが代表的な品種で、7月の東京中央卸売市場では、本県産のモモが約90%を占めます。県オリジナル品種である「夢しずく」も生産量が増加しています。



県オリジナル品種: 夢しずく

味 サクランボ (旬: 5月下旬~6月中旬)

赤い宝石のように実る高級感漂う初夏の果物です。山梨県では、5月上旬から観光もぎ取りも楽しめます。「高砂」「佐藤錦」が代表的な品種で、山梨県が栽培の南限と言われています。県オリジナル品種として、「甲斐オウ果1 (商標: 富士あかね)」があります。



県オリジナル品種: 甲斐オウ果1 (商標: 富士あかね)

味 ブドウ (旬: 8月~10月)

栽培面積、生産量ともに日本一です。栽培の歴史は古く、山梨県では約1300年前から始まったと言われています。「巨峰」「ピオーネ」「甲斐路」「ロザリオ ピアノ」など、品種はとても豊富です。また、「甲州」はワインとしても有名な本県独自の品種です。



ロザリオ ピアノ 甲州

味 ほうとう



山梨県の郷土料理といえば、「ほうとう」です。信玄公の陣中食と伝えられ、たっぷりの野菜と手打ち麺を味噌仕立てで煮込んだ味わいは格別です。山梨を訪れた際は、ぜひとも味わっていただきたいものです。

味 甲州牛



山紫水明の自然豊かな山梨県で、磨き抜かれた飼育技術により丹念に育て上げられた黒毛和種です。その中で、品質ランクが特に優れた5または4等級に格付けされた和牛です。「名水が育む甲州牛」を、ぜひ一度ご賞味ください。

味 スモモ (旬: 7月~8月)

栽培面積、生産量ともに日本一です。「大石早生」や「太陽」、果肉が赤い「ソルダム」の他、スモモの常識を覆すほど大玉で高糖度の「貴陽」や、県オリジナル品種の「サマービュート」「サマーエンジェル」が注目されています。



県オリジナル品種: サマービュート 県オリジナル品種: サマーエンジェル

技 ジュエリー

山梨県は、宝石の加工と貴金属加工が一体となった産地であり、研磨宝飾製品の出荷額は日本一です。さまざまなジュエリーから水晶貴石細工まで幅広い製品がそろっています。



Koo-fu (クーフー) コレクション

技 和紙

山梨県の和紙の歴史は古く、奈良時代末の宝亀4年(773年)の記録には、全国の紙の産地として甲斐の名が記されています。市川三郷町の「市川大門手漉和紙」と身延町の「西島手漉和紙」は、山梨県郷土伝統工芸品に指定されています。障子紙、書道半紙、画仙紙などは、国内生産第3位となっています。



技 織物

山梨県の織物は、独特の光沢や風合いで江戸時代より人々の心をとらえた「甲斐絹」をルーツとしています。現在、甲斐絹の技は婦人服、インテリア、裏地などに活かされ、ネクタイ生地では日本一のシェアを誇っています。



山梨の味と技を知る

美しい風土の中で伝統に育まれた品々。素朴さと気品の中にやまなしの個性が光ります。

The Tastes and Crafts of Yamanashi

味 ワイン



山梨県は日本のワイン発祥の地であり、約80のワイナリーが数多くの銘柄のワインを醸造しています。中でも、本県特産の甲州種ブドウで造られる白ワインは、和食に合う味わい特徴で、和食ブームの海外でも注目されています。

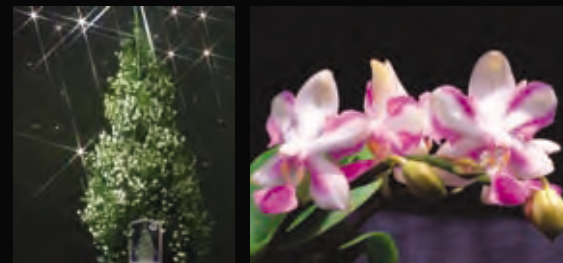
味 吉田のうどん

吉田のうどんは、コシの強い麺の上にキャベツや馬肉を盛りつけ、薬味「すりだね」を入れて食べるのが特徴で、地域色豊かな人気上昇中のメニューです。富士北麓には60店舗以上のうどん店があります。自宅がうどん屋を兼ねている店がほとんどなので、家庭的な雰囲気を楽しむことができます。



技 花き

山梨県は、洋らんやオリジナル品目など、気象条件や技術を生かした特色ある花の栽培が行われ、全国有数の鉢花産地となっています。12月に雪のように白い花をつける「クリスマスエリカ」は、山梨県のオリジナル花きとして人気を集めています。



クリスマスエリカ

県育成品種「ふじ紫(ふじゆかり)」

技 印伝

江戸時代末期までに甲府城下を中心に生産が始められたとみられ袋物として当時から庶民の間で親しまれていました。鹿皮に独特の伝統技法を用いて漆加工したもので、「甲州印伝」として、国の伝統的工芸品に指定されています。



技 硯

甲州雨畑硯は、材料の良さ、光沢の良さが世界的に有名な中国の高級品「端溪」に匹敵するとされ、「和端溪」と言われています。墨ののりがよく、優雅な使い心地のため、書道愛好家にも人気が高いものとなっています。



味 甲斐サーモン

四方を山で囲まれた本県では、豊富で清澄な天然水を利用して淡水魚の養殖が盛んに行われており、特にニジマスの生産量は全国屈指です。1kgを越す赤身の大型ニジマスが名水で育まれた「甲斐サーモン」と名付けられ、寿司、洋食、中華などさまざまな料理で利用され始めています。程よく脂が乗った上質な味わいをぜひご堪能ください。



味 甲府鳥もつ煮

歯ごたえのある食感の砂肝、やわらかいレバー、弾力あるハツ、プチプチした食感のきんかんを甘辛く照り煮するのが特徴の鳥もつ煮。昭和25年ごろ、甲府市内のそば店で誕生したと言われます。



技 印章

文久年間に水晶のてん刻から始まったと言われ、印章は全国有数の産地です。印材は、水晶、柘、水牛などを使用し、機械彫り以外に手彫りによる印章も多く作られています。手彫りの印章は、「甲州手彫印章」として、国の伝統的工芸品に指定されています。



山梨散策 A stroll through Yamanashi

山梨県は、東京圏に隣接しながら、富士山、南アルプスをはじめとする自然景観や、鮮やかに移り変わる四季、さらに豊かな山々と森の息吹に育まれた清らかで良質な水を有する水と緑の宝庫です。

また、ブドウ、モモ、スモモに代表される豊かな果物、温泉やワイン、武田信玄公ゆかりの史跡や文化財など、素晴らしい観光資源に恵まれています。

問い合わせ先

- 観光振興に関する企画・調整、やまなしブランド戦略の推進
フィルム・コミッションに関すること
観光企画・ブランド推進課 TEL 055-223-3776
- 観光地の再生、広域観光の振興、やまなしライフの推進に関すること
観光振興課 TEL 055-223-1557
- 国際観光の振興に関すること
国際交流課 TEL 055-223-1620
- 富士山・山岳の環境保全、エコツーリズムの推進に関すること
観光資源課 TEL 055-223-1576
- 観光全般に関すること
(社)やまなし観光推進機構 TEL 055-231-2722

富士の国やまなし観光ネット 検索



山梨の観光
案内は、
ほくにまかせて!



1 明野のヒマワリ畑



2 新府桃源郷と南アルプス



3 八ヶ岳とわに塚の桜



4 武田神社



5 御岳昇仙峡



6 富士川町高下から望むダイヤモンド富士



7 身延山久遠寺



8 笛吹川フルーツ公園



9 下部温泉郷



10 石和温泉郷(川中島合戦戦国絵巻)



11 西沢渓谷



12 勝沼トンネルワインカーヴ



13 猿橋(日本三奇橋の1つ)



14 河口湖もみじ回廊



15 山中湖に映る逆さ富士

山梨県へのアクセス(東京方面から)

【電車で】

- 甲府へ: 新宿駅-JR中央線・特急-甲府駅 [約1時間30分]
- 河口湖へ: 新宿駅-JR中央線・特急-大月駅-富士急行線-河口湖駅 [約2時間]
- 清里へ: 新宿駅-JR中央線・特急-小淵沢駅-JR小海線-清里駅 [約3時間]
- 身延へ: 新宿駅-JR中央線・特急-甲府駅-JR身延線・特急-身延駅 [約2時間40分]

【車で】

- 甲府へ: 東京方面-中央道-甲府昭和IC [約1時間30分]
- 河口湖へ: 東京方面-中央道大月JCT-中央道富士吉田線-河口湖IC [約1時間20分]
- 清里へ: 東京方面-中央道-小淵沢IC-八ヶ岳横断道路-清里 [約2時間30分]
- 身延へ: 東京方面-中央道双葉JCT-中部横断道-増穂IC-国道52号-身延 [約3時間]

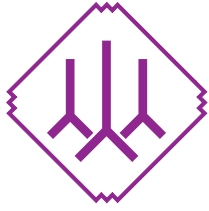
東京・日本橋にある山梨県の情報発信拠点 「富士の国やまなし館」「ワインレストランY-wine(わいわい)」

「富士の国やまなし館」は、山梨県を代表する県産品の展示販売をはじめ、観光やレジャー、田舎暮らしなどの情報発信拠点です。2Fの「ワインレストランY-wine」では、山梨県の食材、ワイン、地ビールなど山梨の食を堪能することができます。

所在地 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4日本橋プラザビル1F・2F
アクセス JR東京駅八重洲北口から徒歩4分 東京メトロ銀座線、東西線「日本橋駅」B3出口徒歩2分
富士の国やまなし館 TEL 03-3241-3776 FAX 03-3241-3778
Y-wine(わいわい) TEL 03-3527-9185 FAX 03-3527-9186

富士の国やまなし館 検索





県章

周囲は富士山と武田菱で美しい郷土を象徴しており、中の山は3つの人文字で山梨の山を形どり、和と協力を表現しています。
(昭和41年10月1日告示)



県旗

優雅なぶどう色を地に用い、中の山は県民の和と協力を、周りの富士山は清廉、潔白、純粹性を表しています。曲線化した富士山は流動感を表し、県民の無限の向上を願ったものです。
(昭和41年12月1日告示)



県の花[フジザクラ]

4月から5月にかけて、富士の裾野を彩ります。木はあまり大きくなりず、花びらも小型で下向き加減に開きます。厳しい富士の風雪に耐えて、つつましくやかに咲く花は、「和と忍耐」を表しています。
(昭和29年制定)



県の鳥[ウグイス]

春を告げる鳥として、昔からみんなに愛され親しまれています。里にも奥山にも生息し、他の鳥のひなを育てるという優しい習慣を持っています。このことから、「明朗と慈愛」を表しています。
(昭和39年6月制定)



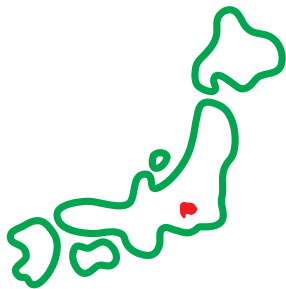
県の獣[カモシカ]

日本特産の特別天然記念物に指定されており、本県では、南アルプス、奥秩父、富士山、三ヶ峠などの山岳地帯に生息します。高山の厳しい自然に耐えて生きていることから「忍耐・努力」を表しています。
(昭和39年6月制定)



県の木[カエデ]

一般的には、葉は緑色で、秋、霜をうけて美しく紅葉します。本県の山などを美しく彩るそのさまは、「山々の男ぶり見よ甲斐の秋(虚子)」などと詠まれています。
(昭和41年9月制定)



[山梨県] 県名の由来

山梨、八代、巨摩、都留の4つの郡からなる甲斐の国は、明治4年11月、廃藩置県で「山梨県」となりました。「やまなし」の由来は、果物のヤマナシがたくさんとれたから、山をならして平地にした「山ならし」からきているなどいくつかの説があります。

平成24年3月発行 編集・発行:山梨県広聴広報課
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1 ☎055-223-1339



この印刷物は環境にやさしいVOC(揮発性有機化合物)成分フリーの植物油型インキを使用して印刷しました。

印刷:(株)サンニチ印刷

Yamanashi
Facts